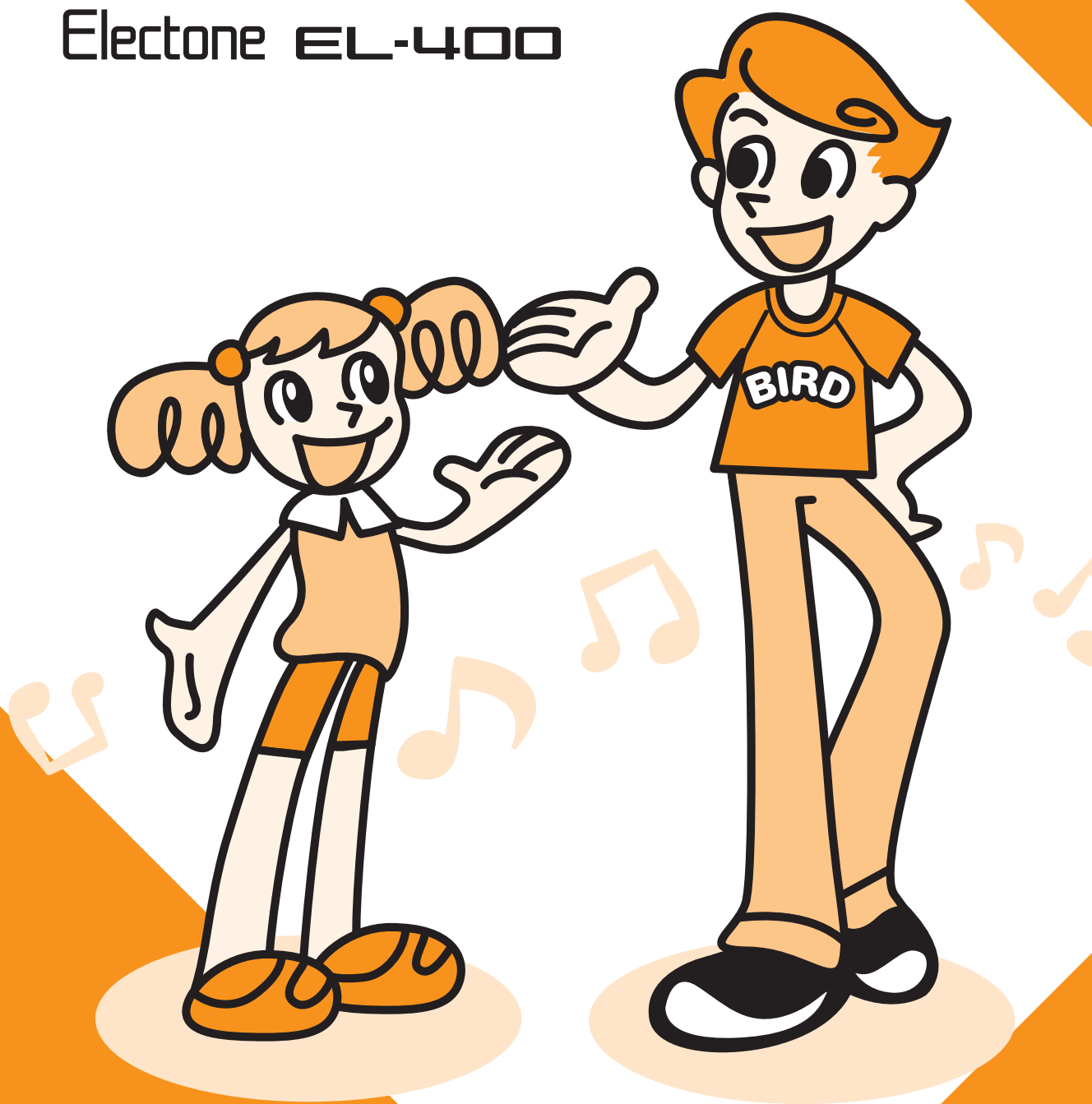



バードくん
と
ことりちゃん


EL


はじめこガイド


Electone EL-400

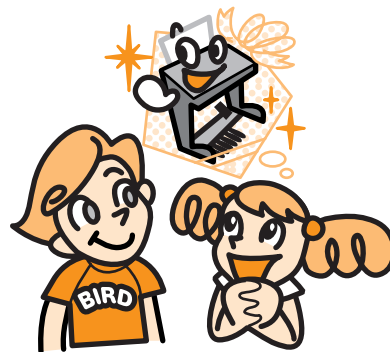



 やあ、ことりちゃん。久しぶり！


 きゃー、バードくん、元気だった？


 まあね～。
ところで、ことりちゃん、
エレクトーン買ってもらったんだってね？

 そうなの～。うれしくて。
きょうはエレクトーンのこと
いろいろ教えてもらおうと思って来たの。



 まかせてっ。なんでも僕に聞いて。

 強い味方だわっ。
エレクトーンって初めてだから、
ホント初歩の初歩から教えてほしいの。
よろしくお願いします。

 じゃっ、始めようか。

バードくん

エレクトーンに関することなら
な～んでも知ってる。
なにしろ、エレクトーンの
ホームページも開設している
ほどの達人。

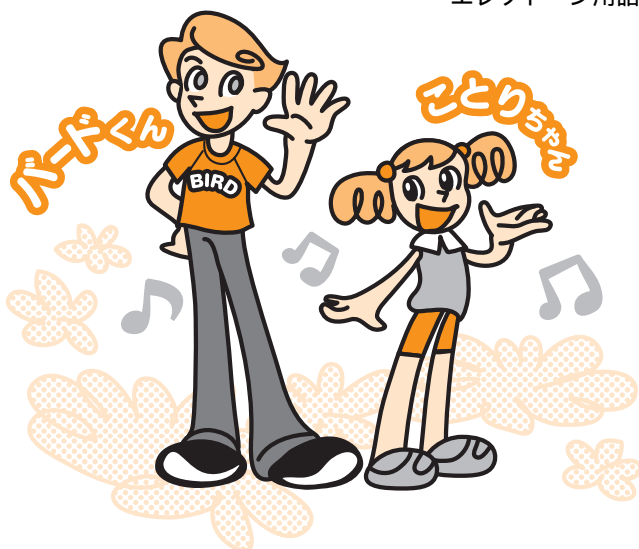


ことりちゃん

小学6年生の女の子。
最近エレクトーンを
買ってもらった。
ピアノはちょっと弾けるけど、
エレクトーンは初心者。
なんにでも興味あり！

もくじ

準備をしよう	4
エレクトーン パワーオン!	5
パネルの紹介	6
EL-400ってどんな音?	8
キーボードパーカッションってなに?	12
天国と地獄	14
メロディを演奏してみよう	17
 EL-400 基本操作編	 20
パネルの音を選んでみよう	21
ドットボタンってなに?	23
リズムの音を聴いてみよう	26
レジストレーションってなに?	28
レジストレーションをフロッピーディスクに保存しておこう	30
 ちょっと応用編	 31
リバーブってなに?	32
サステインってなに?	33
ボイスコンディショニングってなに?	34
リズムコンディショニングってなに?	37
 応用編	 39
ボイスディスプレイ画面ってなに?	40
エフェクトってなに?	41
A.B.C./M.O.C.ってなに?	43
フットスイッチってなに?	44
レジストレーションシフト	46
メトロノーム機能	48
市販の曲集の使い方	49
エレクトーンのことわからないことがあったら・・・	51
EL-400音色リスト	52
EL-400リズムリスト	54
エレクトーン用語いろいろ	55



準備をしよう



さあ、まずはいすに座ってみて。



はい!こんな感じ?



そう。でね、ふつうは上鍵盤に右手、下鍵盤に左手、ペダル鍵盤に左足ね。
右足は、この奥にあるペダルにのせるんだ。



この右足のペダルはなにをするの?



エクスプレッションペダルって言ってね、そこで曲の強弱を操作するんだよ。
でね、位置は自分のおへそが、この中央の「ド」の位置にくる感じ。
エレキトーンと体との距離は、右足をペダルにのせて、ひざが軽く曲がる程度。
つっぱらないようにね!
姿勢は背中があんまり丸くならないように・・・ってことで。



こうね?ふいっ。おもしろい。

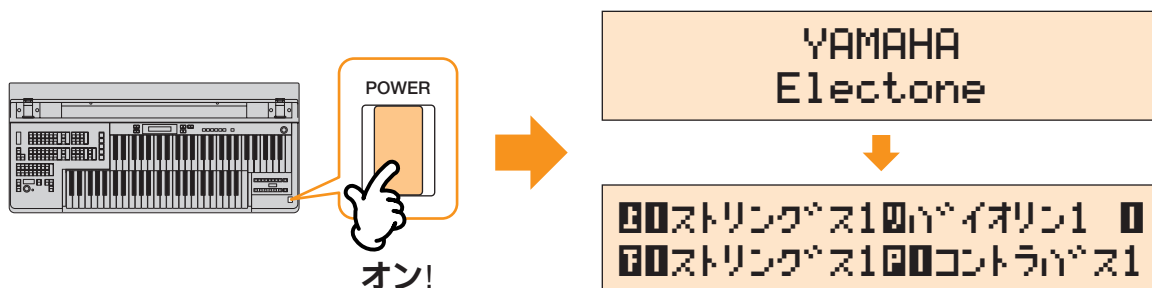


エレクトーン パワーオン!

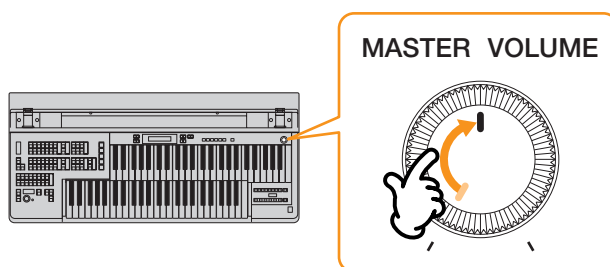


さて、エレクトーンの電源を入れてみよう。手順はね。

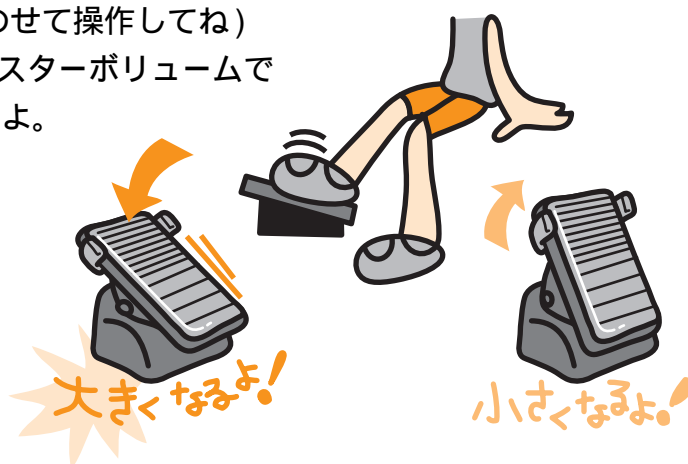
1. パネル右下のPOWERスイッチオン!



2. 全体のボリュームをセット。 (ここでは時計でいう12時のところにしてみるけど、部屋の広さによって調節してね)

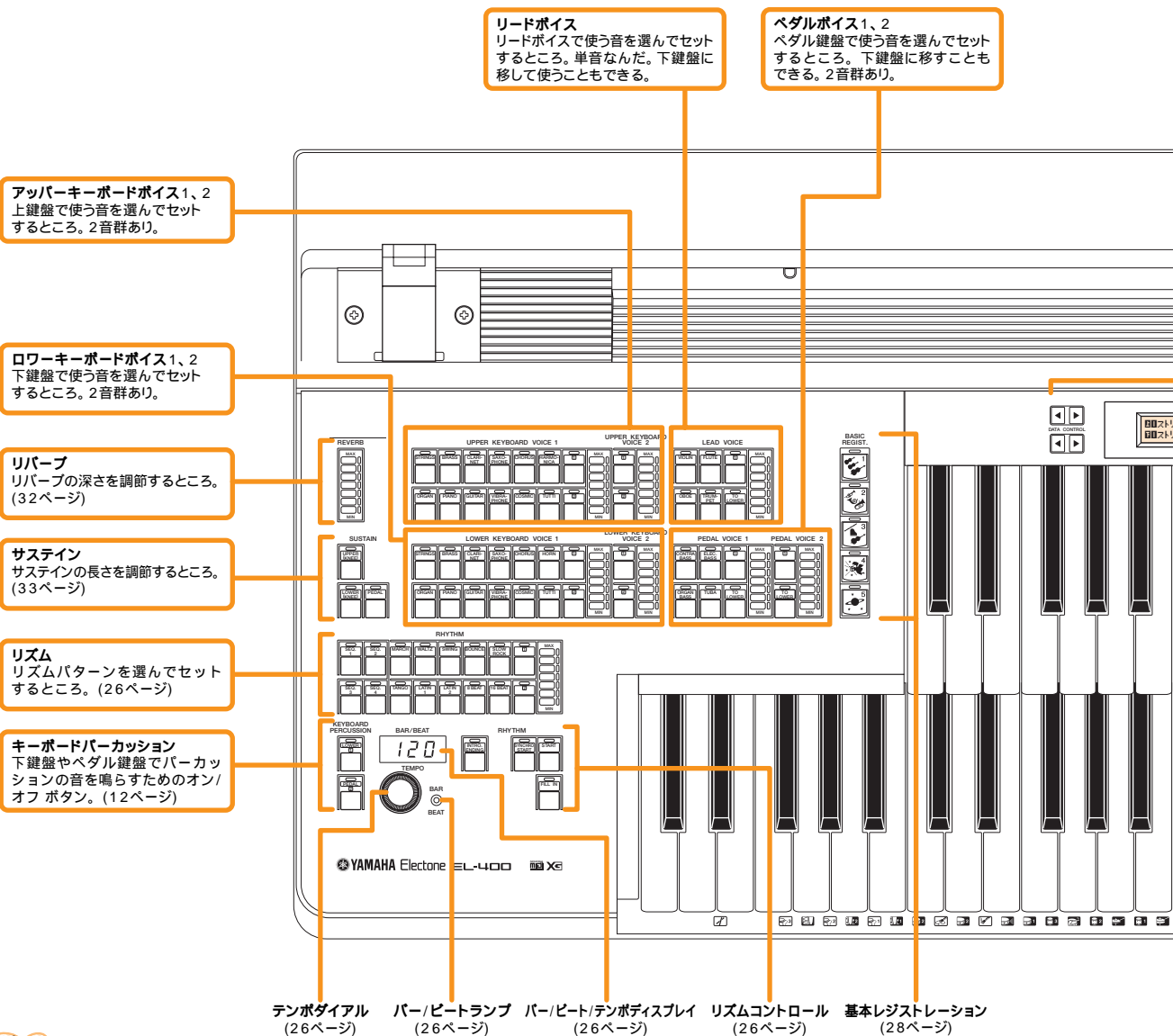


3. エクスプレッションペダルを上げておいて、少しずつ踏み込んでみよう! (右足をのせて操作してね) いちばん奥まで踏み込むと、マスターボリュームで決めた最大の大きさになるんだよ。



パネルの紹介

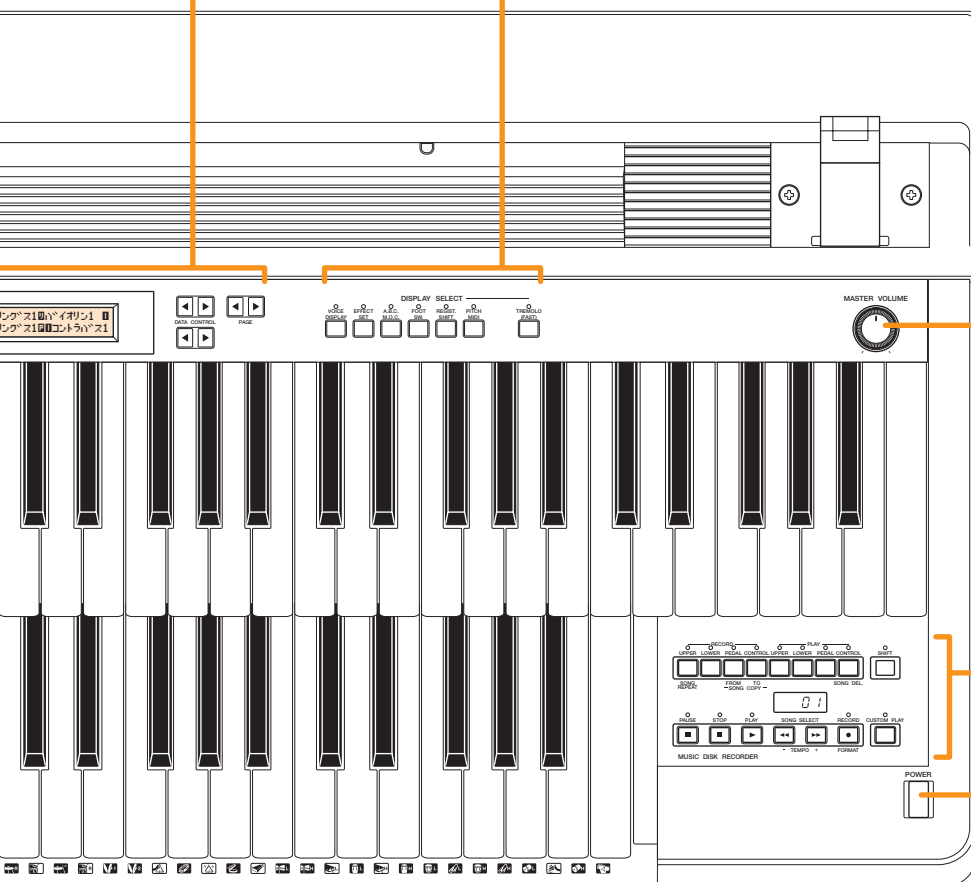
- さて、このエレクトーンのパネルの説明をしよう。
- エレクトーンのパネルって、ボタンがいっぱいね。
- そうだね、こうして1つ1つまとまって並んでいるでしょ。
それぞれ、役割ごとに集まっているんだ。簡単に説明しようね。





LCDディスプレイ
いろいろな情報を画面表示してくれるところ。

ディスプレイセレクト
LCDディスプレイに表示する機能を選ぶボタン。



マスターボリューム
エレクトーン全体の音量を決めるところ。

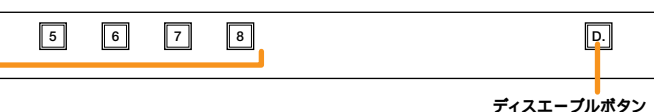
ミュージックディスクレコーダー
通称MDR。

パワースイッチ
主電源のスイッチ。

フロッピーディスク挿入口
フロッピーディスクを入れるところ。

ユーズランプ
フロッピーディスクが入っている時はランプがつく。


イジェクトボタン
フロッピーディスクを取り出すボタン。



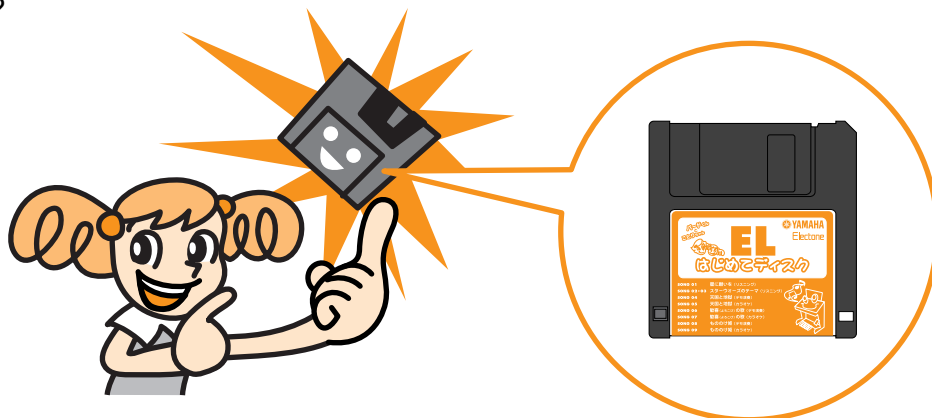
ディスエーブルボタン





EL-400ってどんな音?


 エレクトーンといっしょに“ELはじめてディスク”というフロッピーディスクが入っていたでしょ?

 これ?





 そうそう。それにはね、たくさんのエレクトーンのレジストレーションや演奏が入っているんだ。


 レジストレーション・・・??

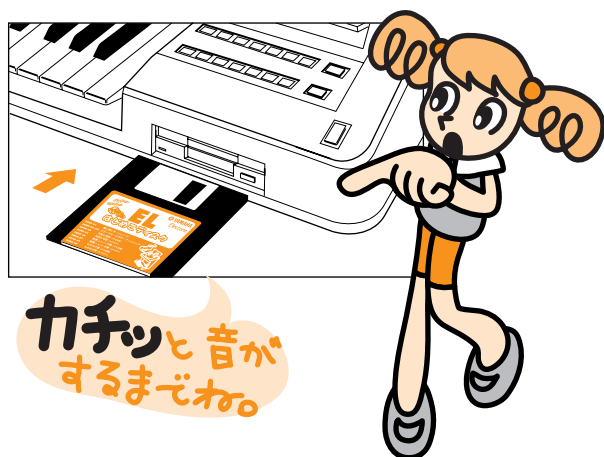
 まっ、くわしくは後で。
まずは音を聴いてみようよ。



 そうねっ。早く聴きたい。で、どうやるの?
このフロッピーディスクを使うのよね。

 そうだよ。
そのフロッピーディスクをミュージックディスクレコーダー(以降:MDR)に入れてみて。

 ここね。



コラム

フロッピーディスクの内容はこうなっているよ!

ELはじめてディスクの内容

Song No	曲名	内容
01	星に願いを	リスニング
02/03	スターウォーズのテーマ	リスニング
04	天国と地獄	デモ演奏
05	天国と地獄	キーボードパーカッション、カラオケ
06	歓喜の歌	デモ演奏
07	歓喜の歌	メロディ奏、カラオケ
08	もののけ姫	デモ演奏
09	もののけ姫	メロディ奏、カラオケ



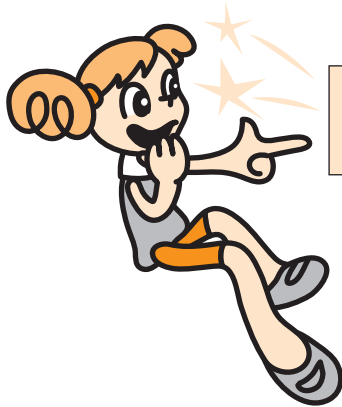
ねえ、ここ見て。



うわあ。なんか曲の名前?・・・が出てるう。



そうなんだ。曲の名前を表示することができるから
ちゃんと曲名の確認もできるんだよ。



<ソングネーム>
01:HOSHINI NEGAIWO



ここでMDRについてちょっと勉強しておこう!



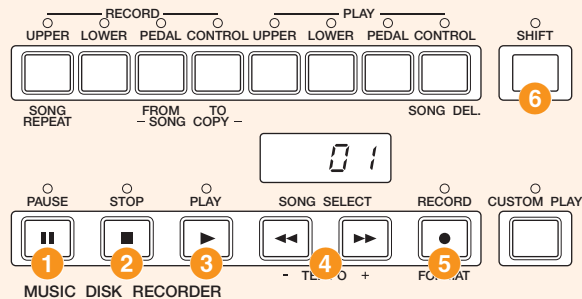
MDRって本名はミュージックディスクレコーダーっていいね、
エレクトーンに関する色々な情報を、再生させたり、録音/保存しておいたりする機械なんだ。



たくさんボタンがあるわね。



ここでは、基本的な操作で使うボタンの役割を覚えておこうね。



各ボタンの役割

- ① PAUSE (ポーズ) ボタン 演奏を途中で止める。
- ② STOP (ストップ) ボタン 演奏を終了する。
- ③ PLAY (プレイ) ボタン レジストレーションを読み込む。演奏を始める。
- ④ SONG SELECT (ソングセレクト) ボタン ソングナンバーを選ぶ。
- ⑤ RECORD (レコード) ボタン レジストレーションを保存、演奏を録音する。
- ⑥ SHIFT (シフト) ボタン パネルボタンの表示とは別の機能を選ぶときに使う。


曲のテンポを遅くするときは⑥ + ④ [◀◀ (-)]


曲のテンポを速くするときは⑥ + ④ [▶▶ (+)]


曲のテンポを元に戻すときは⑥ + ④ [◀◀ + ▶▶ (+ - 同時)]




くわしくは、取扱説明書73ページを参照してネ!

 SONG SELECT (ソングセレクト) ボタン (◀◀/▶▶) を押して、LCDディスプレイを見てごらん。

 わ～、名前が変わった!

 そうさ、曲名が連動して表示されるようになっているんだ。便利でしょ。
何回か(▶▶)を押してみて。このフロッピーディスクには9つのデータが入っているから、そこまでは曲名が表示されるはず。
(フロッピーディスクの内容は8ページ参照)

 超～便利。じゃあ1曲めから・・・。


『01：星に願いを』


SONG SELECT ボタン (◀◀/▶▶) で、ソングナンバー01を選んで、



それで、PLAYボタン (▶) を押すのね!



 どお? 素敵でしょ。

 う～ん。すごーくいい。



コラム

市販のフロッピーディスクはプロテクト仕様になっているので、MDRのソングナンバーの横にPrの文字がでます。

Pr

曲解説

星に願いを

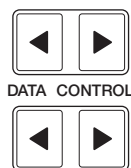
1940年に公開されたディズニーアニメ映画「ピノキオ」のテーマ曲です。映画の冒頭^{ぼうとう}、女神に願いをかけたゼペットじいさんに、こおろぎのジミーが語りかけるように歌います。曲全体がやさしい気持ちに包み込まれるような心地よいメロディが印象的です。



じゃあ、さっそく次の曲。

『02：スターウォーズのテーマ』

SONG SELECTボタン(◀◀/▶▶)で、ソング02にして・・・



＜ソングネーム＞
02:Star Wars *-*-*-*



PLAYボタン(▶)オン!



うわあ～～～迫力ある～。
ほんとにたくさんの音が出るのねえ。



この曲では、エレクトーンの音のほか
にXG音源っていう音源も使っ
ているんだ。
さらに豪華な感じがするでしょ。
(くわしくは取扱説明書86ページ参照)



8ページの表だと、ソングナンバーが02/03となっているんだけど・・・??



この曲は1曲で2つのソング分のレジストレーションを使っているんだ。
ネクストソング機能っていう便利な機能を使って再生中に次のレジストレーションを
読み込んでいるから、聴くのは02だけのようで、実は途中から03になっているんだよ。
(くわしくは取扱説明書70ページ参照)





曲解説

スターウォーズ

1976年、全米で公開されたシリーズ第1作目より圧倒的な支持を得ているジョン・ウィリアムズの代表作。
主人公、ルーク・スカイウォーカーをイメージする力強いメロディと、勇ましい反乱軍のファンファーレが
効果的に使われています。

キーボードパーカッションってなに？

 キーボードパーカッション？

 その名のとおり、鍵盤で打楽器！

ある鍵盤に打楽器音をセットして、その鍵盤をたたいて打楽器音を出すことをいうんだけど・・・

たとえば、下鍵盤「ド」の音にトライアングル、「ソ」にタンバリンとか・・・自由にセットできちゃうんだ。上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤と、どこでも自由さ。なにしろエレクトーンには120種類のパーカッションが入ってるんだから。



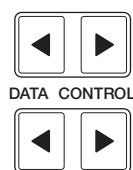
キーボードパーカッションのくわしいことは、取扱説明書55ページを参照してね！

ドラムの音をセットすれば、ドラマーにだってなれるんだ。

なにはともあれフロッピーディスクのソング04を聴いてみよう！

『04：天国と地獄（デモ演奏）』

PLAYボタン(▶)オン！



＜ソングネーム＞
04：TENGOKU..(DM)



デモンストレーションの略
(デモ演奏が入っていることを意味しているんだよ)



いろいろなパーカッションが鳴ってたでしょ。人の声まであったね。

この曲は下鍵盤でキーボードパーカッションをたたくようにいろいろなセットがしまってるんだ。

組み合わせはね、8セット(ユーザー1～8)までつくれるんだよ。

この曲でも8つのセットを使ってるね。

ユーザー:1
メモリー1、2、6で使う



ユーザー:2
メモリー8で使う



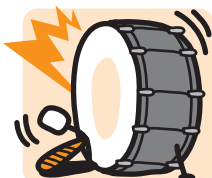
ユーザー:3
メモリー3で使う



ユーザー:4
メモリー5で使う



ユーザー:5
メモリー5で使う



ユーザー:6
メモリー7で使う



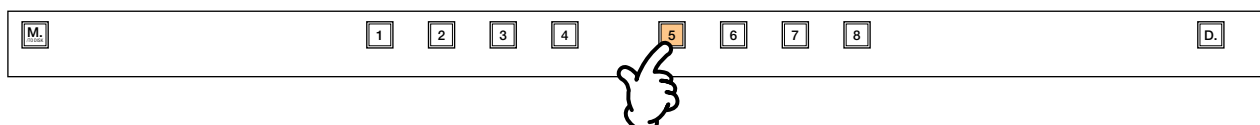
ユーザー:7
メモリー10で使う



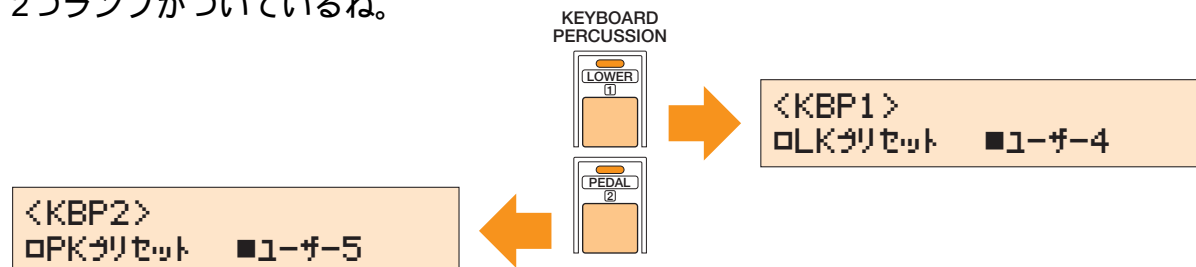
ユーザー:8
メモリー10で使う



たとえば、メモリー[5]では、キーボードパーカッションの
ユーザー4とユーザー5を使っている。
メモリー[5]を押してみてください。



2つランプがついているね。



これはね、[1]のボタンにはユーザー4(下鍵盤の「ド」の音にハンドクラップをセット)、
[2]のボタンにはユーザー5(下鍵盤の「ド」の音にバスドラムヘビーをセット)をセット
しておいて、ユーザー4とユーザー5を同時につかって、1つの「ド」の音で2つの楽器が
鳴るようになっているんだね。



なるほど!



じゃ、楽譜を見てみよう。この楽譜が、実際にキーボードパーカッションをたたくため
のものだよ。



ちょっと待って、確認!使う音は、ド、レ、ミ、ファ、ソね。OK!



もういちど、デモンストレーションを聴きながら楽譜を見てみようね。

天国と地獄

作曲/オッフェンバック

編曲/稲垣千章



MEMORY 1 MEMORY 2 MEMORY 1 MEMORY 2 MEMORY 1 MEMORY 2

トライアングルオープン

MEMORY 1 MEMORY 2 MEMORY 1

D.S. time MEMORY 8

MEMORY 3 (D.S. time repeat)

シンバルマーチ

かけ声2(イヨー) (D.S. time)

タンバリン

1. 2.

ビブラスラップ

かけ声3(オー) (D.S. time)

かけ声1(イヤー) (D.S. time)

MEMORY 4 MEMORY 5 MEMORY 4 MEMORY 5

ハンドクラップ + パスドラムヘビー

1. 2.

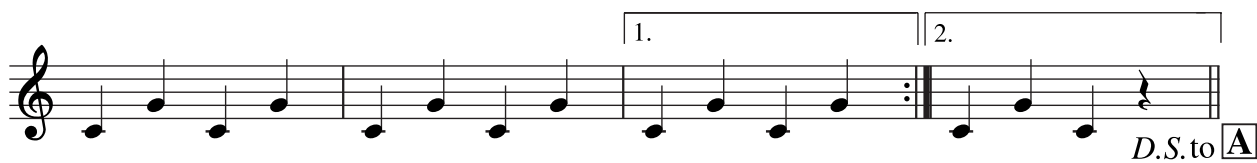
MEMORY 6

クラッシュシンバル1

MEMORY 7 C

ティンパレス 3ハイ

ティンパレス 3ロー



Coda





じゃあ今度は、ことりちゃんが実際に鍵盤をたたいて、キーボードパーカッションで曲に参加してみよう。

ソング05にカラオケのソングがちゃ～～んと用意されているよ！



ちょっと部分練習してみて。



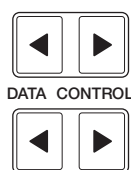
楽譜のメモリーボタンを押して、たたいてみるのね。メモリー1と2では「ド」の音だけね。

メモリー8・・・きゃあ～～声が出てきた・・・・・・・・・・。

準備OK～！

『05：天国と地獄（カラオケ）』

PLAYボタン(▶)オン！



＜ソングネーム＞
05: TENGOKU (KARA)



カラオケの入っている
ソングに表示されるよ！



イントロの4小節をよーく聴いて……。リズムにのってね。



めちゃ楽しい～



コラム

テンポを変更するには・・・

MDRのSHIFTボタンを押しながらソングセレクトボタン(◀/▶)を押すことによって、テンポの速さを変更することができます。通常のテンポを100%、と考え、遅くするには90%、80%・・・と下げていきます。(くわしくは本書9ページあるいは取扱説明書89ページ参照)



曲解説

天国と地獄

チェリストであり、オペレッタの作曲家でもある、オッフェンバックが、ギリシャ神話のオルフェウスとエウリディーチェの悲しい恋の物語を題材にして作曲した、オペレッタ「天国と地獄」の序曲。

おなじみの名曲を、キーボードパーカッション機能を使って、リズム打ちしてみましょう。

パーカッションやかけ声・・・盛りだくさんです！

メロディを演奏してみよう



さて、今度は、実際にメロディを演奏してみようね。
曲名は『^{よろこび} 歓喜の歌』。



あのベートーベンの？

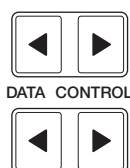


そう。それがね、原曲とはかなり違ったエレクトーン
ならではの楽しいアレンジなんだ。
まずは、楽譜(別紙)見ながら聴いてみよう。



『06：^{よろこび} 歓喜の歌 (デモ演奏)』

PLAYボタン(▶)オン!



<ソングネーム>
06: YOROKOBI ♪. (DM)



すごーい。おもしろいアレンジね。テンポも速
いし、ついていけるかしら・・・



がんばって。最初はチョット遅く弾いてみる？
(9ページ参照)

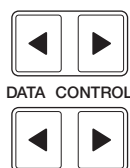
じゃあ、用意はいいかな？
イントロの6小節を待って入るんだよ。



わかったわ。ドキドキ。

『07：^{よろこび} 歓喜の歌 (カラオケ)』

PLAYボタン(▶)オン!



<ソングネーム>
07: YOROKOBI ♪. (KARA)



だんだん慣れてきたら、テンポも上げていって、
最後はもとのテンポ(100%)に挑戦してみようね。



コラム

メモリーナンバー
を変更しながら、
リズムを使わずに
ゆっくり曲の練習
をしたい場合は、
レジストレーショ
ンシフトユーザー
機能を使おう！
(46ページ参照)



曲解説

^{よろこび} 歓喜の歌

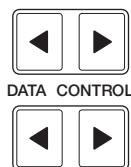
F. シラーの詩「歓喜に寄せて」によるメロディが有名な、L.V. ベートーベンの最高傑作。
当時、交響曲と合唱という組み合わせは異例なことで、副題の「合唱付き」はここからきています。
このフロッピーディスクでは、原曲がクラシックとは思えない、アップテンポのノリの良い軽快なリズムの
アレンジになっています。[A] のメロディは単調にならずにリズム感を保ちながら弾いてみましょう。
(この曲の強弱は自動でつきます。)



さあ、もう1曲演奏することができるよ。
今度は、ポップスオーケストラアレンジの「もののけ姫」を
聴いてみようか。

『08：もののけ姫 (デモ演奏)』

PLAYボタン(▶)オン!



<ソングネーム>
08: MONONOKE ♪. (DM)



楽譜とサイズは確認できたかな?



多分。このテンポならなんとかついていけるよーな・・・(ちょい不安)



さて、この曲は自分で強弱を付けて弾くようにできているんだ。
右足のエクスプレッションペダルを使って、強弱をつけながらメロディを奏でる。
チョット大変だけど挑戦してみよう!



メモリー[1]の音色で、練習してみよう。



最初は**p**(ピアノ)。小さくね。徐々に大きくしていってみよう。
f(フォルテ)が大きく。逆もやってみて・・・だんだん小さく・・・。




曲解説

もののけ姫

1997年の宮崎アニメ「もののけ姫」のテーマ曲。

“もののけ姫”サンが眠るかたわらで、そっと見守るアシタカ・・・。「恋」と「慈愛」と「憐れみ」が入り交じった
アシタカのまなざしを、カウンターテナー米良美一が透明感あふれる歌声で表現していた曲です。
メロディのフレーズ感を大切に、ゆったりと表情豊かに演奏しましょう。エクスプレッションでの表現はあまり
極端になり過ぎないように注意してください。

 足がガクガク動く～～


 足首を柔らかくして、力抜いて・・・！



メモリーナンバーを変更しながら、リズムを使わずにゆっくり曲の練習をしたい場合は、レジストレーションシフト機能を使おう！(46ページ参照)

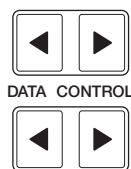


ふんとうちゅう
<・・・ことりちゃん奮闘中!!!・・・>

 では、カラオケに合わせて演奏してみようね。


『09：もののけ姫(カラオケ)』

PLAYボタン(▶) オン！



<ソングネーム>
09: MONONOKE ♫. (KARA)



 右手で演奏するのは **A** からだよ。
この曲の強弱はエクスプレッションペダルを使って、
ことりちゃんがコントロールしてね。

最後 **D** の右手はお休み。

EL-400 基本操作編



あー楽しかった!!エレクトーンってスゴイ。超豪華!



ねえ、せっかくだから、EL-400の超基本的な操作を覚えておこうネ。

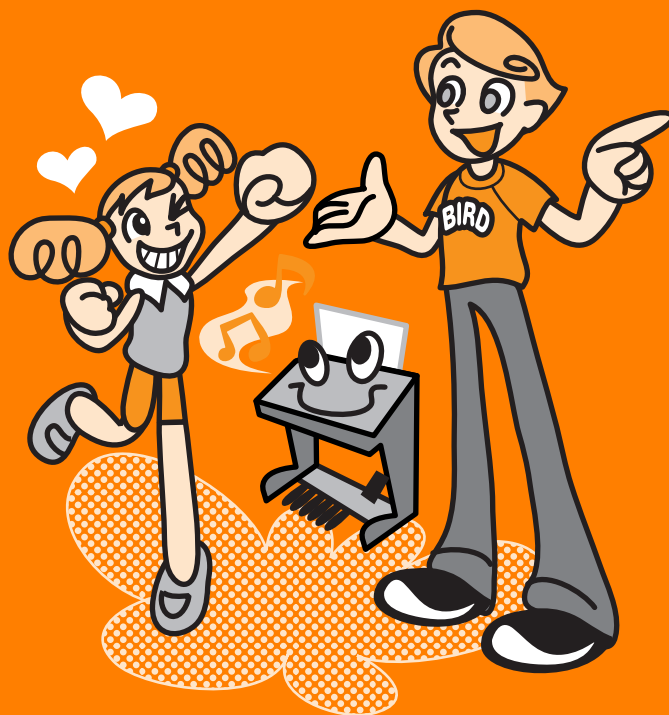
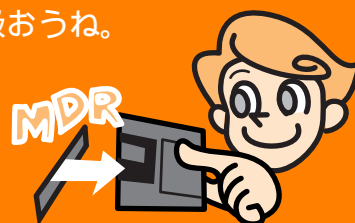


覚えられるかしら・・・?でも、興味あり!



使っていたフロッピーディスクは取り出しておいて。

フロッピーディスクはとってもナイーブだから大切に扱おうね。



パネルの音を選んでみよう



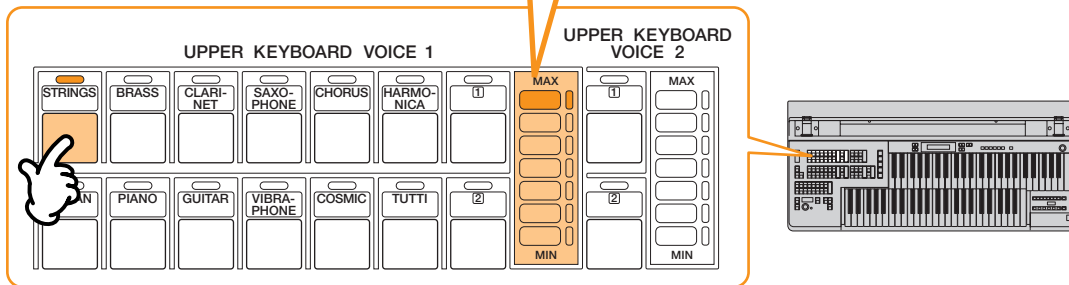
UPPER KEYBOARD VOICE (アッパーキーボードボイス：上鍵盤ボイス) 1には、
たくさんのボタンがあるよね。

STRINGS (ストリングス) のボタンを押してみて！



ここね。

ボリュームを上げておいてね！



LCDディスプレイを見てごらん。

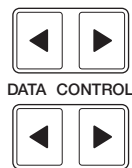
そのストリングスの部屋には4つの仲間が入っているんだ。

この場合は・・・



ストリングス1、ストリングス2、ピチカート、シンセストリングス1ね。

今はストリングス1に がついていているから、これが鳴らせるのね。



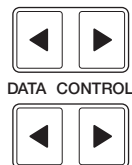
■ストリングス1 ストリングス2
ピチカート シンセストリングス1



そっか～、こんな音なんだ。




ストリングス2を選ぶには・・・




ストリングス1 ■ストリングス2
ピチカート シンセストリングス1




 なーるほど、じゃあピチカートならここね。



あっ、ピチカートの音に変わった。弦をはじいている音ね。

 そうだね、同じように他の音色ボタンの中にも4つの音色が入っているんだよ。


 ほんとだ・・・いろいろな音が入っているのね。

ピアノボタン

ピアノ	エレピ1
エレピ2	ハーウシコード

ギターボタン

ギター1	ギター2
エレキギター1	ハーウ

 LEAD (リード) ボイス、PEDAL (ペダル) ボイス、LOWER KEYBOARD (ロワーキーボード = 下鍵盤) ボイスの音色ボタンも同じように、1つの部屋に4音色入っているんだ。

リードボイス/フルートボタン

フルート1	ピッコロ
リコーダー	ホイッスル

下鍵盤ボイス/ホルンボタン

ホルン1	ホルン2
ホルン3	ミュートホルン

ペダルボイス/エレキベースボタン

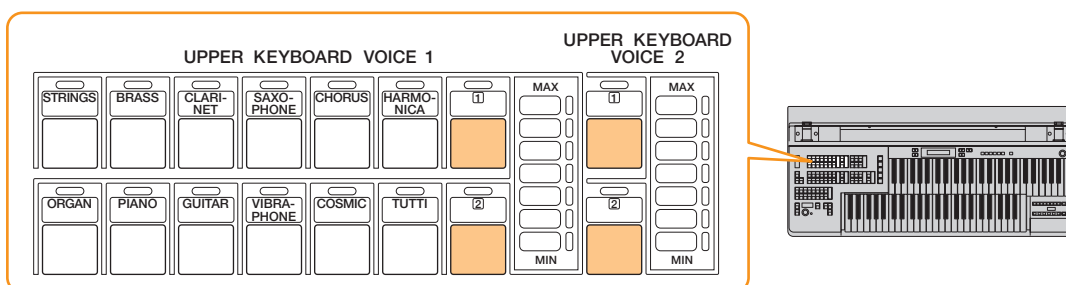
エレキベース1	エレキベース2
シンセベース1	シンセベース2



すべての音色ボタンに4つの音色が入っているわけではないからね。

ドットボタンってなに？

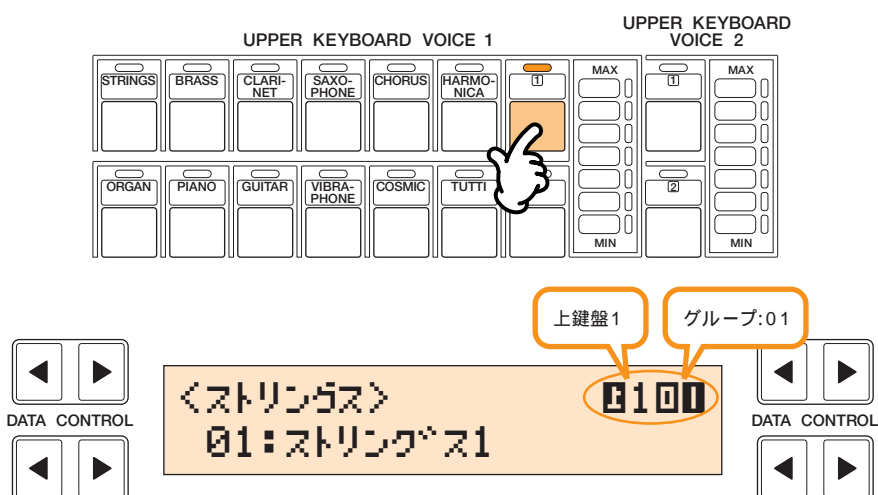
ねえ、この音色名の書いていないボタンはなに？



ドットボタンっていったね、そこにはこのエレクトーンに入っている音をな～んでも呼び出すことができるんだ。

ドット？

そう、ドットボタン1のほうを押してみて。



鍵盤を弾いて音を確認してみよう！

1音色しか入ってないの？

いやいや、初めに出てくるのはそのページの中の1番目の音、いわば1番バッテリーかな？

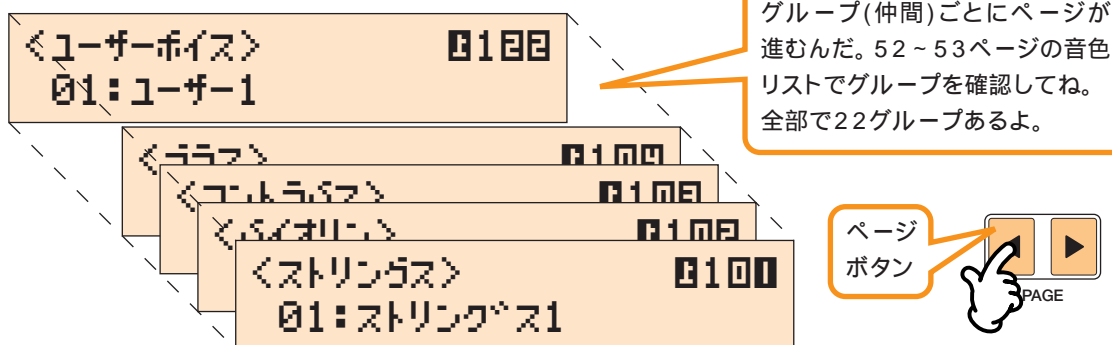


コラム

ドットって元は“点”の意味なんだけど、以前のエレクトーンで点の表示がついているボタンだったことから、このボタンのことを“ドットボタン”っていうらしいよ。

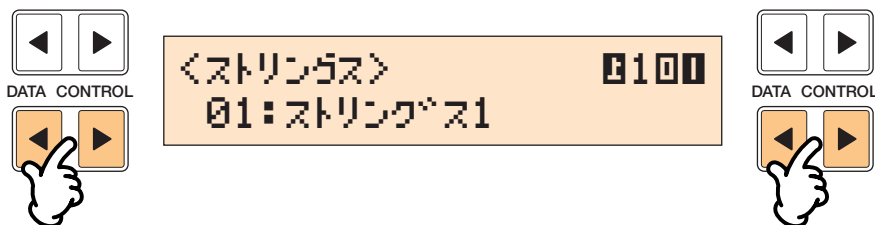


ページボタンでどんどん次のページにしていって見て



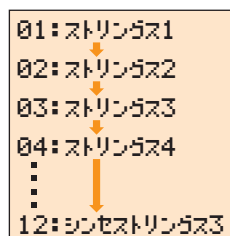
グループを選んだらその中のメンバーを確認しよう。

ストリングスのページを選んだ場合



↑のボタンを押していって見て。音色が次々に登場するでしょ。

これがストリングスグループにいるメンバーなんだ。



こんなに？ 12音色もあるわよ！

あれっ、さっきこのSTRINGSボタンの中は4つしかなかったよーな・・・

ストリングス1 ピチカート	ストリングス2 シンセストリングス1
------------------	-----------------------



うーん、いいところに気がついたね！



ドットボタンってすご~い。どんな音でも呼び出せるのね。



パネルを見てわかると思うけど・・・

上鍵盤2、下鍵盤2、ペダルボイス2はドットボタンだけなんだよ。

でも、ドットボタンはなんでも呼び出せるから安心だね！



コラム

パネルのボタンで呼びだせる音色とその他ドットボタンでしか呼び出せない音色については52~53ページの音色リストを見てネッ！

ドットボタン直接呼び出し!



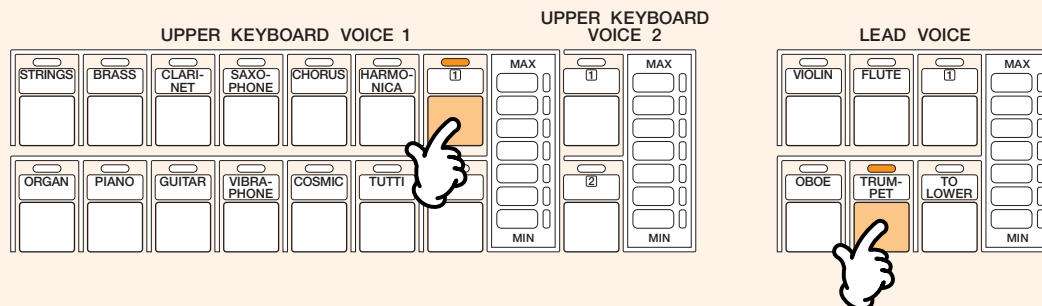
音色ページを覚えるのって結構面倒ね。



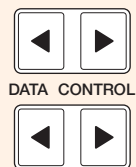
そんなとき、便利な機能があるんだ。

たとえば、「上鍵盤1のドットボタンにトランペット6をセットしたい!」ってとき、

上鍵盤1のドットボタン1を押しながら、リードボイスのトランペットボタンをオン!

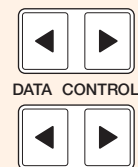


上鍵盤1のドットボタン1にトランペットグループが直接登場!!

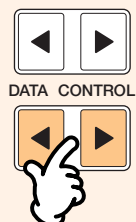


<トランペット>
01:トランペット1

0106

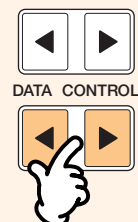


データコントロールボタンで06:トランペット6まで進めて

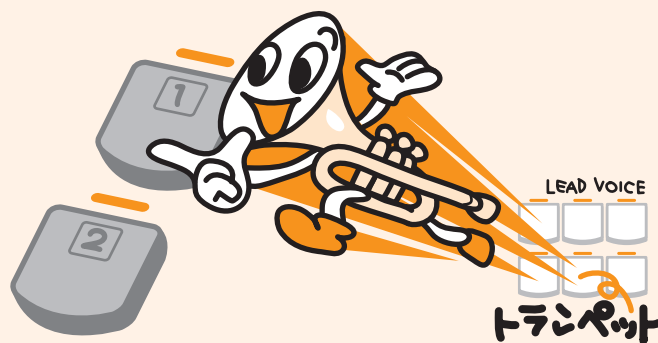


<トランペット>
06:トランペット6

0106



なーるほどねえ。こりゃ便利だわっ。



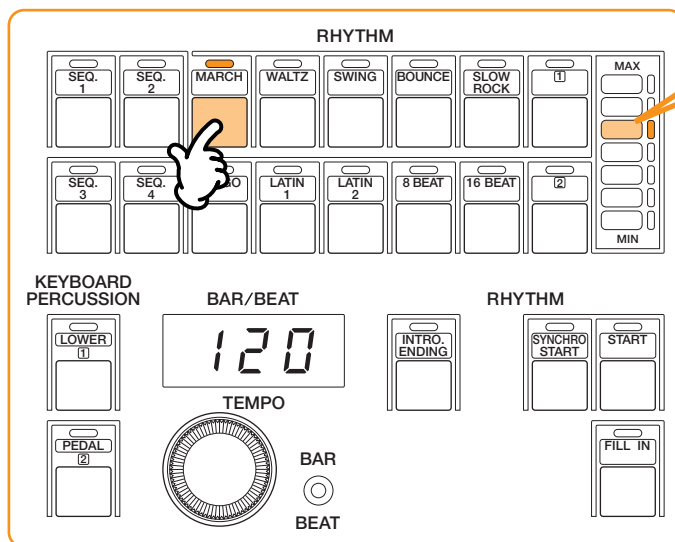
リズムの音を聴いてみよう



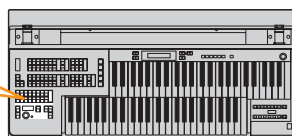
さて、今度はエレクトーンに初めから入っているリズムパターンを聴いてみよう。パネルのリズムセクションはわかるね。



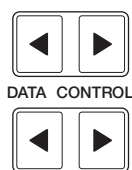
じゃ、MARCH(マーチ)から



ボリュームを上げておいてね!



LCDディスプレイに4つのパターンが表示されたでしょ。



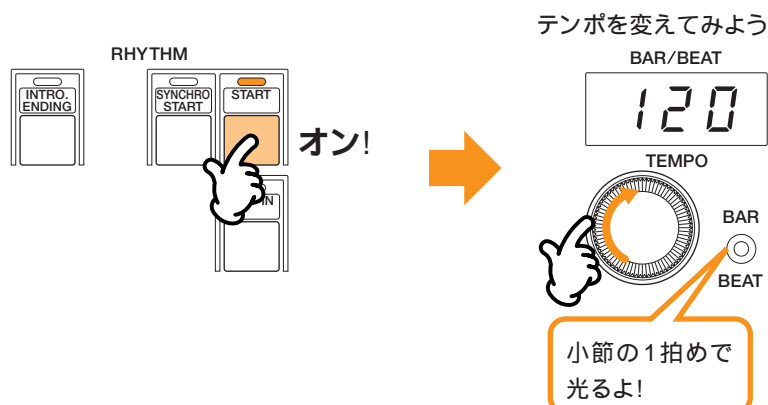
マーチ1
カントリー1
ホルカ1
ブロードウェイ



マーチの仲間のリズムだよ。

音色と同じように、1つの部屋の中には、リズムが4つずつ入っているんだ。今は、マーチ1が選ばれてる状態。他の3つを選ぶには、音色のときと同じでデータコントロールボタン(◀ / ▶)を使ってね。どれか選んで、リズムの音を聴いてみよう。

START(スタート)ボタンでリズムがスタートするよ。



コラム

リズムがストップしている時は、テンポを表示。

BAR/BEAT

120

リズムがスタートしている時は、

BAR/BEAT

10.3

小節数 表示
ビート(拍) 表示



でも本当はね、マーチの仲間はこのエレクトーンの中には9パターンもいるんだ。
そ・こ・で!

ここにもドットボタンがあるでしょ。

このボタンを使えば、全パターンを呼び出すことができるんだ。

ドットボタン1 オン!

RHYTHM

SEQ. 1	SEQ. 2	MARCH	WALTZ	SWING	BOUNCE	SLOW ROCK	1	MAX
SEQ. 3	SEQ. 4	TANGO	LATIN 1	LATIN 2	8 BEAT	16 BEAT		MIN

1 ページめ

DATA CONTROL

◀ ▶

◀ ▶

<マーチ>

01:マーチ1

02:マーチ2

03:マーチ3

04:ホカ1

05:ホカ2

...

09:パロック

DATA CONTROL

◀ ▶

◀ ▶

データコントロールボタン(◀ / ▶)を押していくと・・・ほら9つのリズムパターンが呼び出せたでしょ。

音色と同じようにドットボタンにリズムパターンを直接呼び出すこともできるよ。



16ビート ファンク3を呼び出してみよう!

1. ドットボタンを押しながら、パネルの16 BEAT (16ビート) ボタンをオン!

RHYTHM

SEQ. 1	SEQ. 2	MARCH	WALTZ	SWING	BOUNCE	SLOW ROCK	1	MAX
SEQ. 3	SEQ. 4	TANGO	LATIN 1	LATIN 2	8 BEAT	16 BEAT		MIN

10 ページめ

DATA CONTROL

◀ ▶

◀ ▶

<16ビート>

01:16ビート1

DATA CONTROL

◀ ▶

◀ ▶

2. パターンを選ぶ。

DATA CONTROL

◀ ▶

◀ ▶

<16ビート>

08:ファンク3

DATA CONTROL

◀ ▶

◀ ▶

08:ファンク3を選んだ状態

3. リズムスタート オン!!
できたあ・・・。



リズムのグループ分けや、パターン名については、リズムリスト表(54ページ)を見て確認しよう!

レジストレーションってなに？



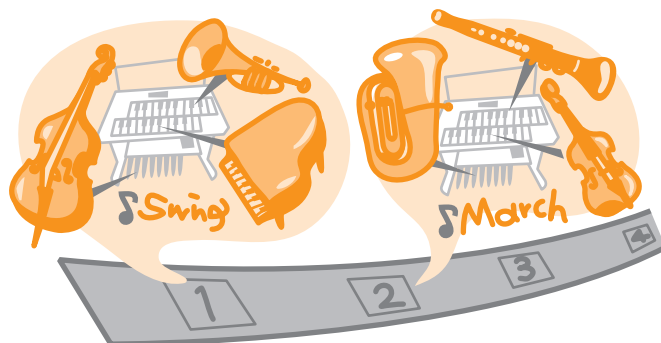
たとえば上鍵盤をトランペット、下鍵盤をピアノ、ペダル鍵盤をウッドベース、リズムをスイングにセットしたとするでしょ。

その一組のセットのことを“レジストレーション”っていうんだ。

そのセット1組1組を、鍵盤の間にある[1]～[8]のボタンにしまっておくんだ。

それらのボタンをレジストレーションメモリーボタンっていうんだ。

場面場面で好きなセットを(メモリーボタンを押して)呼び出して使うことができるんだ。



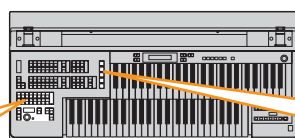
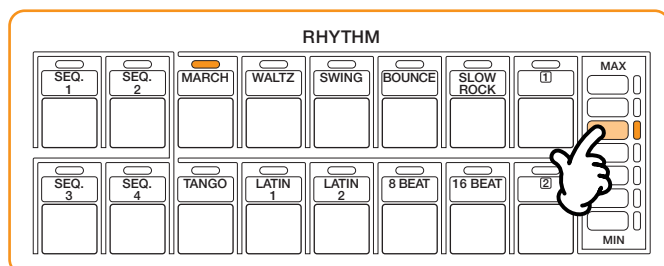
EL-400の場合は1つのソングで8セットまで登録できるからね。

じゃ、実際に・・・メモリー作業をしてみよう。

基本レジストレーション3を押して、

リズムのパートのみ変更してみるよ。

ボリュームの上から3つめを押してみて。



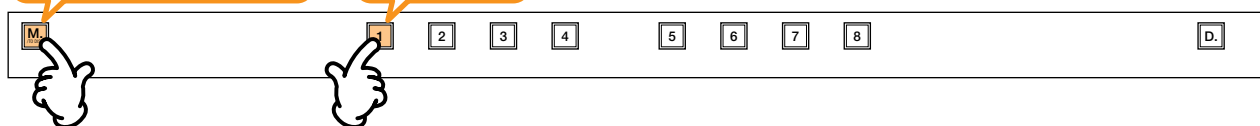
うん大丈夫。できた。




でね、それをメモリー[1]にしまおう(メモリーする!っていうんだよ)。


M./TO DISKボタンを押しながら

[1]のボタンを押す





M./TO DISK (メモリー) ボタンを押しながらメモリー[1]のボタンを押すんだよ。
点滅し終わったら終了!

 上鍵盤1の音色だけをピアノに変えて、メモリー2にもセットしてみてください。

 けっこうカンタン！



 セットしたら、ちゃんと確認してね。
メモリー1と2、ちゃんと違っていたかな？

 バッチリ！

基本レジストレーションってなに？

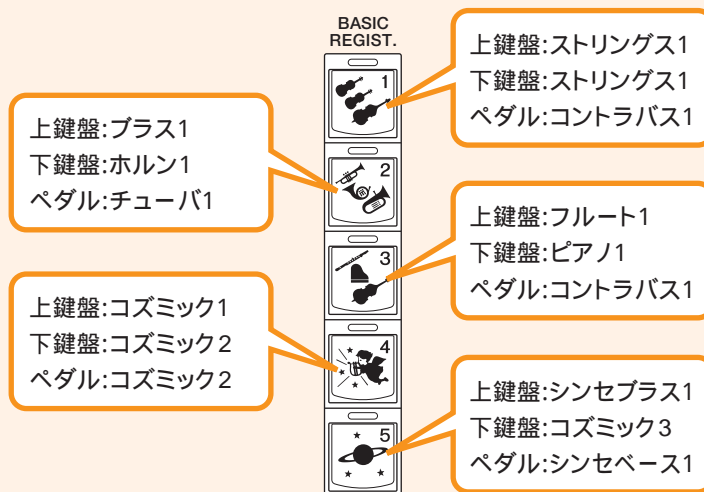


この絵の書いてある5つのボタンってな～に？

これはね、『基本レジストレーション』って言ってね、上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤の音色の組み合わせ(レジストレーション)がもう最初からセットされている箱なんだ。



それぞれ、絵にかいてあるイメージの音色セットなんだよ。(取扱説明書11ページ参照)



この状態からいろいろ変化させて使うといいよ。

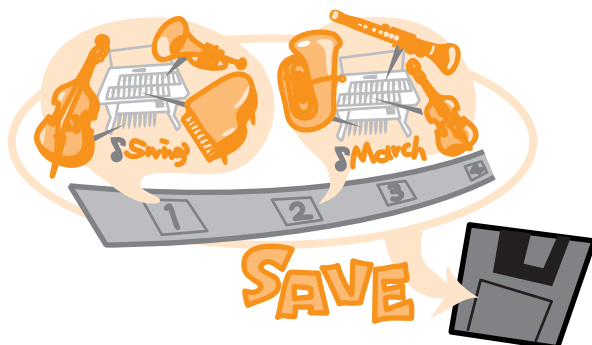
たとえば、
ある音色だけ変更したり、リードボイスを加えたり、好きなリズムパターンを加えたり、
オートベースコード(42ページ)をセットしたり、アカンパニメントを加えたりして
さらに豪華に・・・などなどいろいろ考えられるよね。

気に入ったレジストレーションができたなら、メモリー(28ページ)をしておこう。
楽しんでみてね。

レジストレーションをフロッピーディスクに保存しておこう



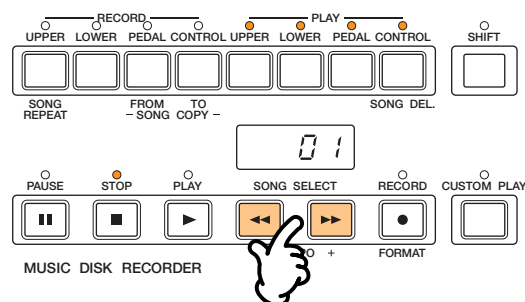
せっかく作ったレジストレーションは、とっておきたいよね。
MDRにとっておく操作を覚えよう。



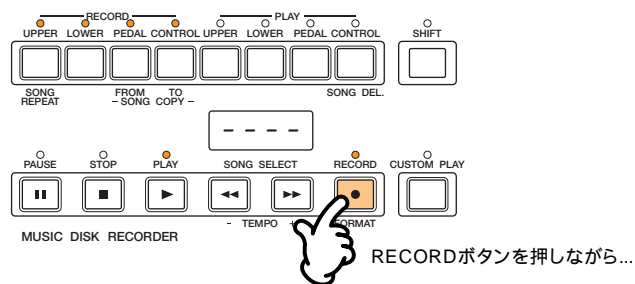
コラム

とっておくことをSAVE(セーブ)するということだよ。

エレクトーン用にフォーマットされた(下記コラム参照)フロッピーディスクをMDRに入れ、ソングセレクトボタンでしまっておく番号を選ぶ(たとえば01)。



MDRのRECORDボタンを押しながら、M./TO DISKボタンをオン!



自然にMDRがストップするから安心。

簡単でしょ!



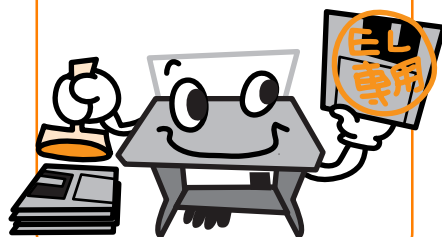
ほんと。
使いたいときは、そのソングを選んで、PLAY(プレイ)ボタンを押せばいいのよね。



コラム

フォーマット

新しいフロッピーディスクをエレクトーン用に作る作業のこと。フロッピーディスクをMDRに入れて、SHIFTボタンを押しながらRECORDボタンをオン。MDRのディスプレイが160から順にカウントダウンして00になって、01表示に戻ったら終了。この作業は一度やればOK!使うたびにやってしまうと、中身がゼーンブ消えてしまいます。(MDRパネル図は7ページ参照)



ちょっと応用編



さて、基本編は理解できたかな？



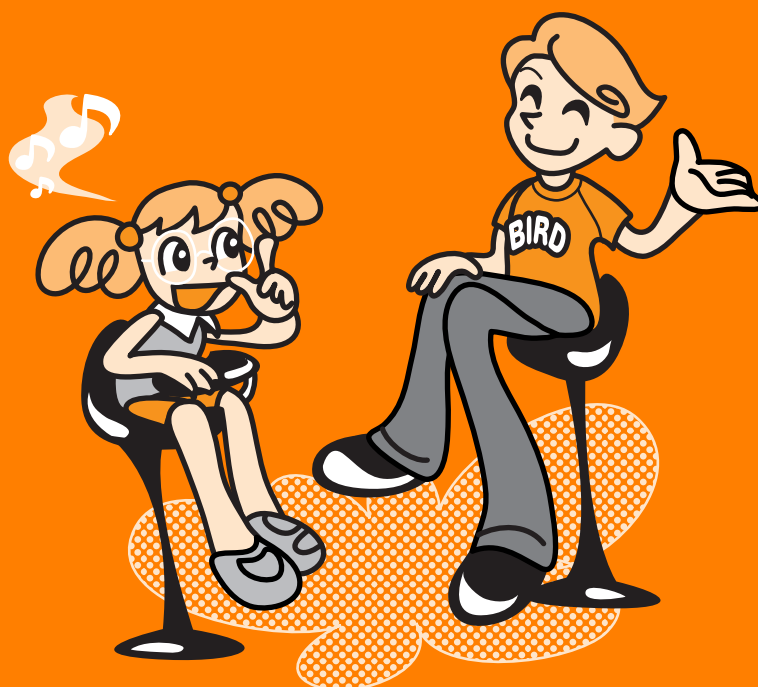
うん、なんとなくね。なかなかおもしろいわね。



もう少し機能を覚えてみない？



せっかくだから、教えてもらいた～い！



リバーブってなに？



リバーブってなあに？



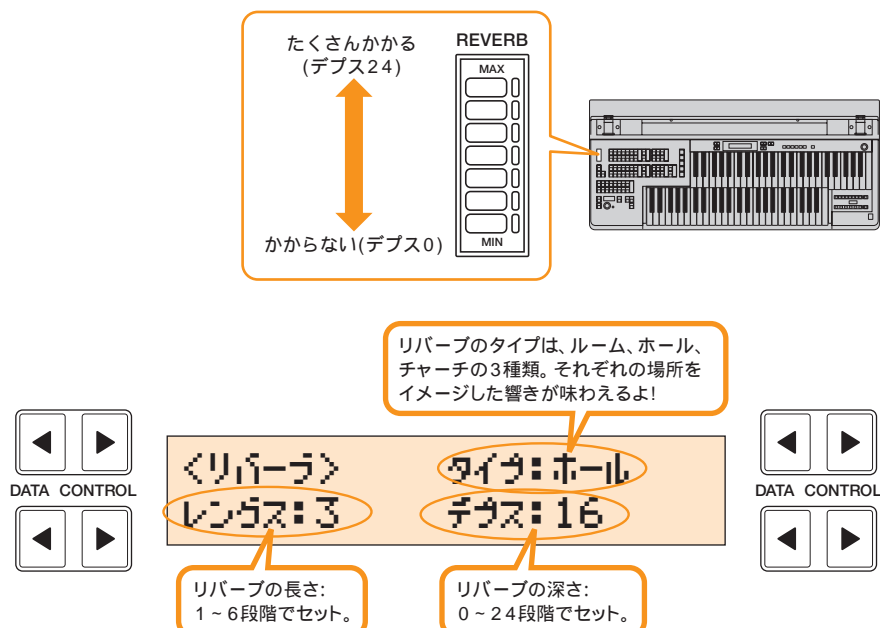
エレクトーン全体の音の^{ざんきょう}残響のこと。



^{ざんきょう}残響・・・？



大きなホールとかで手をたたくと、「パ～ン」と響くでしょ。
ああいう状態を作ってあげるのがリバーブ。
パネル左上にあるボタンで、セットするよ。



教会で弾いてるような
余韻いっ～ぱいな感じ。
^{よいん}




ホール


コンサートホールをイメージした響き。

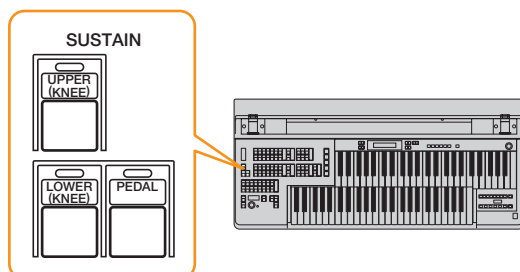


部屋で弾いてる感じ。
あまり響かない。

サステインってなに？

 サステインってなあに？

 弾いた音、1音1音の余韻^{よいん}のこと・・・
まあ実際に体験してみよう。

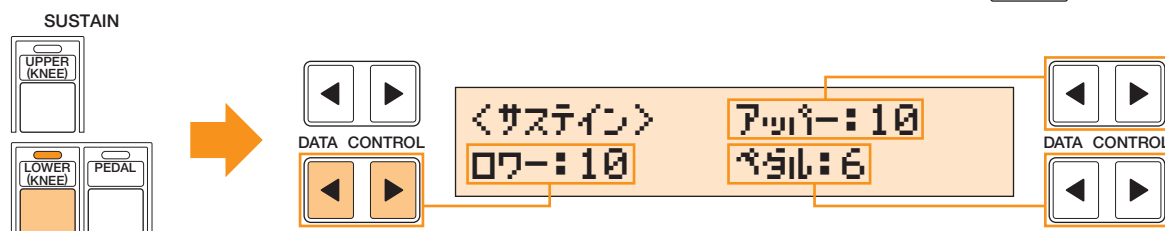


基本レジストレーション3でサステイン実験

基本レジストレーション3をオン！

下鍵盤にはピアノがセットされてるね。

SUSTAIN (サステイン) のLOWER (ロワー) ボタンを押すと、



◀ ▶ ボタンでロワーの数字を変えよう！余韻^{よいん}の長さが変わるよ。

0 1 2 3 ... 12

かからない ← いちばん長くかかる

さあ、鍵盤を弾いてくらべてみよう。



コラム

ニーレバーはたたんでおこう！
ニーレバーの使い方は、取扱説明
書101ページを参照してね。

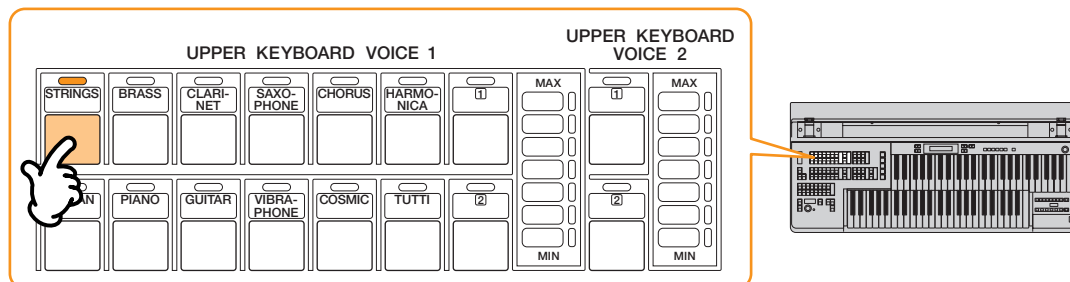
ボイスコンディションってなに？

1つ1つの音色のいろいろな状態のことを、ボイスコンディションっていうんだ。

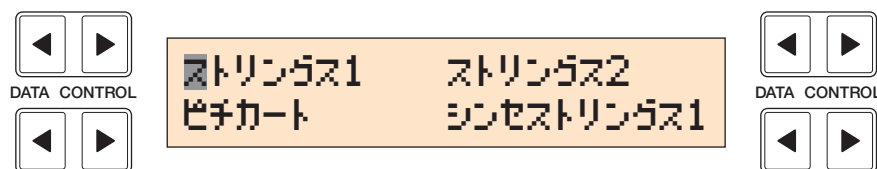
いろいろな状態って？

まあ、画面を見てみよう。音色はストリングス1でいいかな。

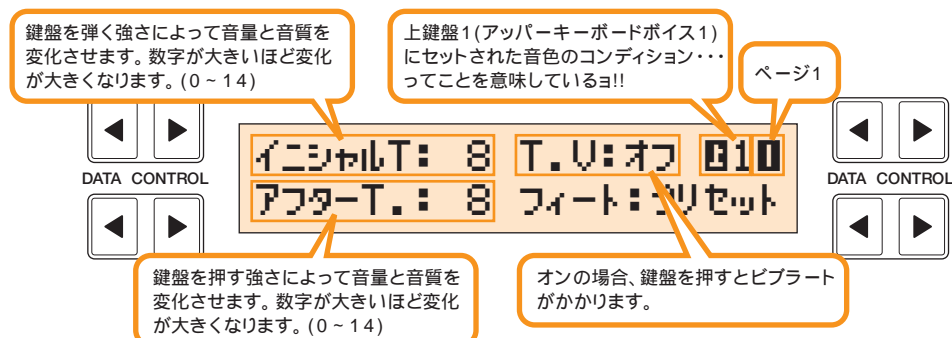
パネルのSTRINGS(ストリングス)ボタン オン！



これがボイスメニュー画面

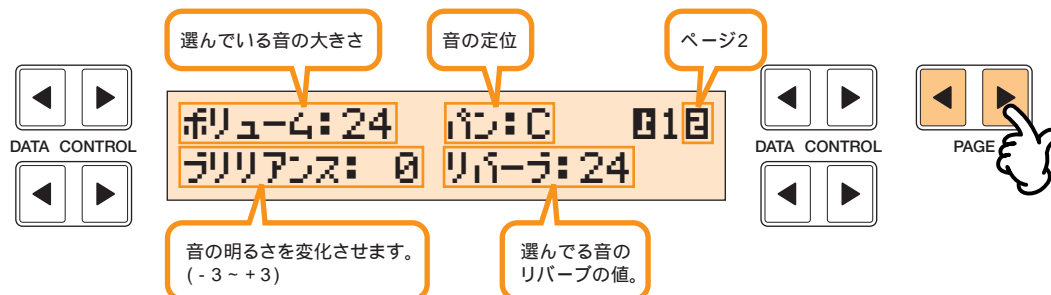


もう一度ストリングスボタンを押すと出る画面が「ボイスコンディション」画面。



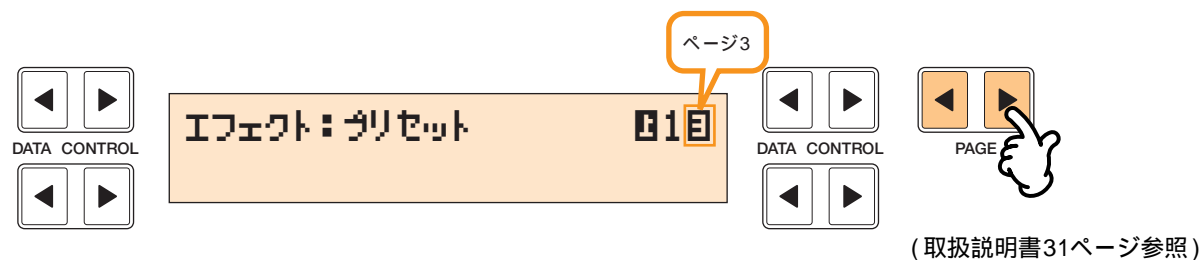
ページボタンで進めると、

2ページめ

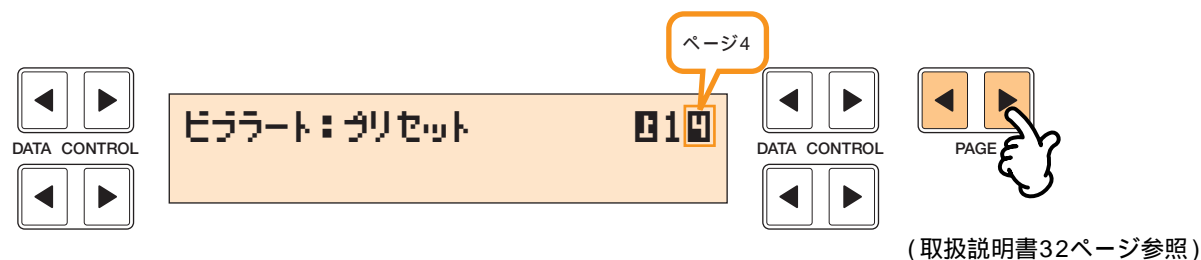


(取扱説明書30ページ参照)

3ページめ



4ページめ



どお？1つの音色で、こんなにいろんなことをセットできるんだよ。



こ～んなに？？？すごいわね。



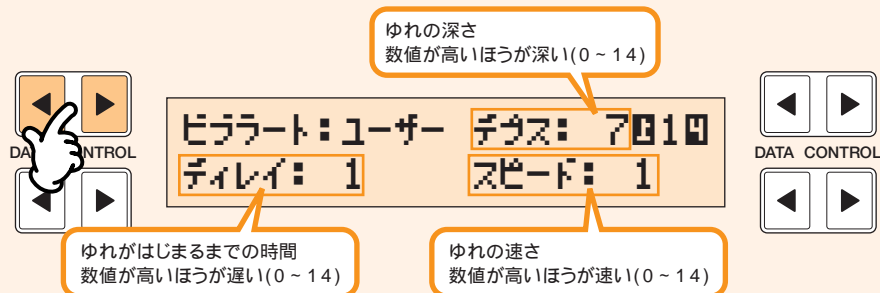
ビブラート



さて、4ページめの画面にあるビブラートについて、もう少し詳しく見てみよう。

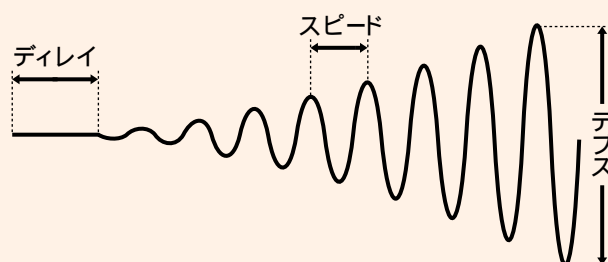
ビブラートってね、音にゆれをつけること。音色が柔らかい感じになるんだ。

ビブラートには、はじめからその音にセットされているプリセットと、自分で好きなようにセットできるユーザーの2種類があるんだよ。



図で表すところなるよ！

ビブラートコントロール

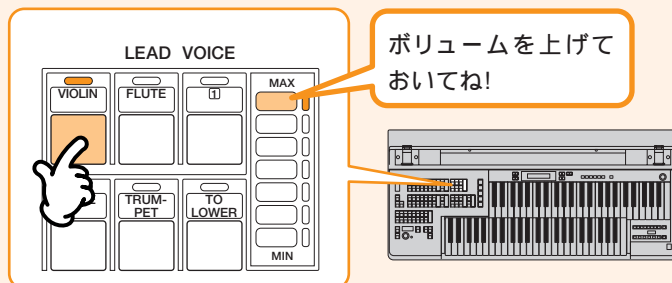




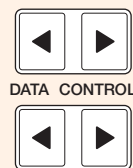
VIOLIN (バイオリン) にビブラートをセットしてみよう!



バイオリンはパネルのLEAD VOICE (リードボイス) にあるね。
ボイスコンディションの4ページを出して。

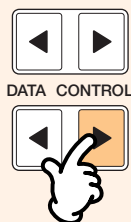


ビブラート: リセット

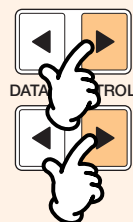


この状態で一度音を出してみよう。

ユーザービブラートの画面に進み、すべての値をわざと最高値にすると・・・。



ビブラート: ユーザー デウス: 140
ディレイ: 14 スピード: 14



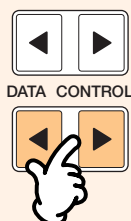
セットできたら弾いてみてごらん。



すごーい。こんなビブラートもあるの? でもけっこう面白い・・・。



ほんと、もっと自分で心地よく感じる値にセットするんだよ。たとえば、



ビブラート: ユーザー デウス: 70
ディレイ: 4 スピード: 3



とかね。テンポや曲のフレーズによっても全然変わっちゃうから、いろいろ工夫してみてね。

最初に聴いた『星に願いを』を覚えているかな? あの曲のストリングスにはさまざまなユーザービブラートがセットされているんだよ。のぞいてみるといいね。

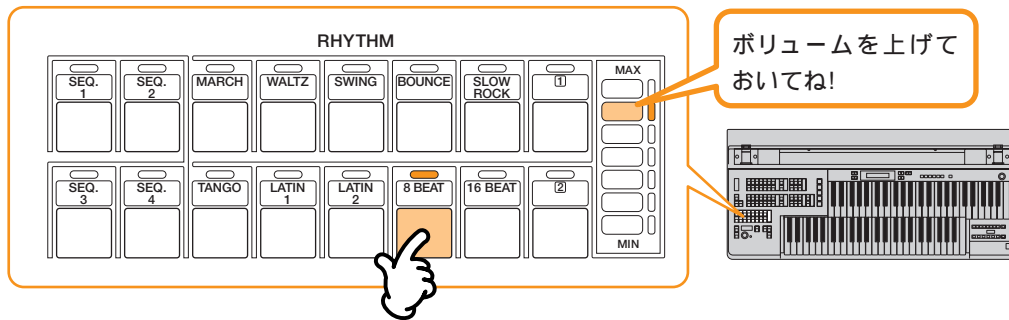
リズムコンディションってなに？

1つ1つのリズムのいろいろな状態のことを、リズムコンディションっていうんだ。

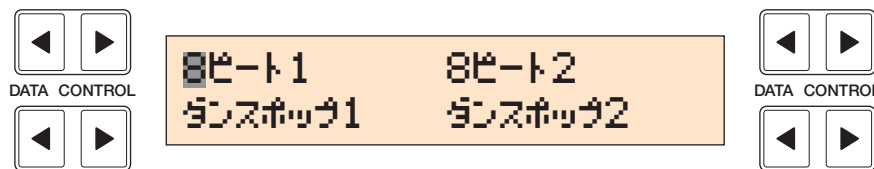
いろいろな状態って？

まあ、画面を見てみよう。リズムは8 BEAT(8ビート)にしてみよう。

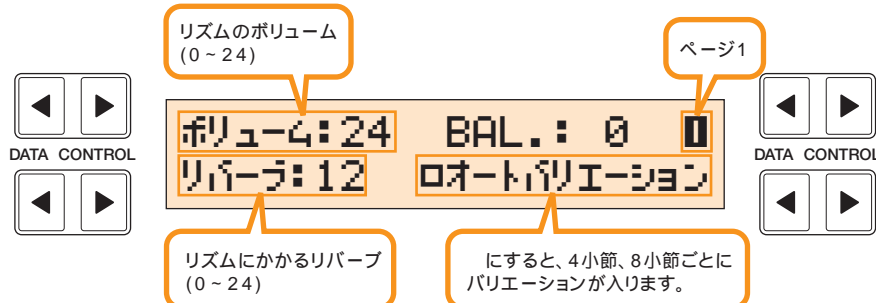
パネルの8 BEATボタンをオン！



これがリズムメニュー画面

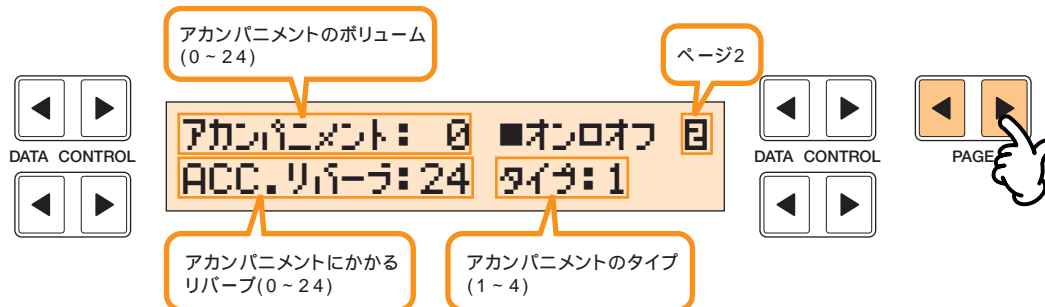


もう一度8 BEATボタンを押すと出る画面が「リズムコンディション」画面。



(取扱説明書47ページ参照)

ページボタンで進めると、



(取扱説明書48ページ参照)

どお？音色と一緒に、1つのリズムでこんなにいろんなことをセットできるんだよ。

なるほど。

アカンパニメント

アカンパニメント (ACCOMPANIMENT)、略してACC.

自動伴奏のこと。押さえた和音に反応して各リズムにあった伴奏をしてくれる。

便利だし、超～豪華！

A.B.C. (オートベースコード：43ページ) とかなり深い関係なんだ。



カントリー1のACC.を聴いてみよう！

まずは準備。基本レジストレーション3をオン！

パネルのリズムのボリュームを上から3つめにして！

カントリー1はパネルのマーチボタンの中にあるヨ。



37ページのリズムコンディション画面のページ2に

アカンパニメントをセットするところがあったね。

ってことは・・・(わからなくなったら37ページを見よう！)

1.

リズムコンディション画面ページ2を呼び出し、アカンパニメントのボリュームをあげる。

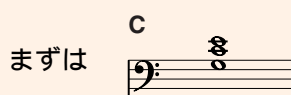


アカンパニメント: 24 ■オンロオフ 目
ACC.リバーブ: 24 タイム: 1



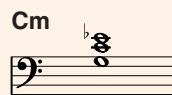
2.

下鍵盤で和音を押さえ、リズムスタート。



まずは

次はマイナー



なんか演歌
っぽいネ

3.

タイプは1～4。

それぞれ順に聴きくらべてみよう！



アカンパニメント: 24 ■オンロオフ 目
ACC.リバーブ: 24 タイム: 4



とっても楽しくて、豪華に聞こえるのね。



他のリズムもゼ～ンブ違ったパターンが入ってるんだ。楽しいよっ。

43ページのA.B.C.も一緒に使ってみると、さらにゴージャス！

応用編



むずかしかった？



ちょっとね。



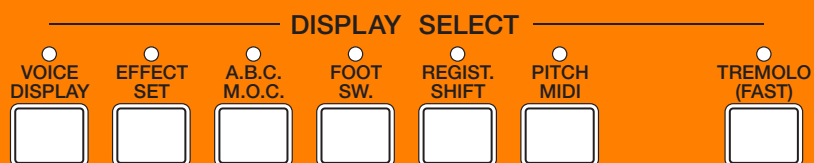
さて、ここからはEL-400をマスター!!って感じかな。



がんばるわっ。



LCDディスプレイの右どなりにあるのが、ディスプレイセレクトボタン群だね。

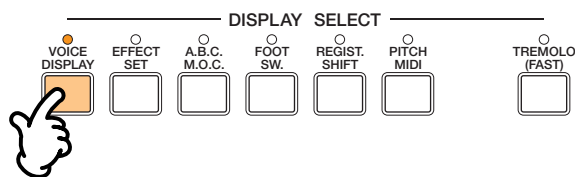


ここはね、ボイスコンディション画面や、
リズムコンディション画面とつながっているんだ。
くわしくはその場で...



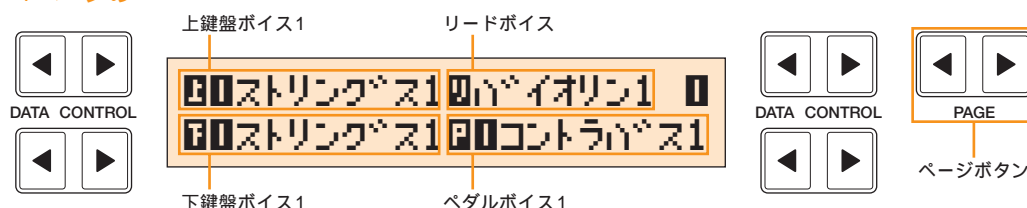
ボイスディスプレイ画面ってなに？

VOICE DISPLAY (ボイスディスプレイ) ボタン



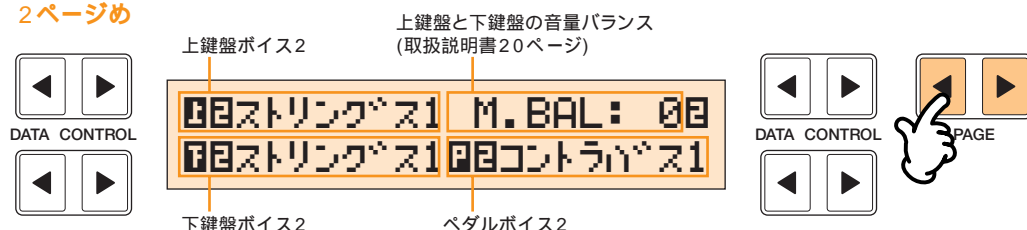
5ページで、エレクトーンの電源を入れた時にLCDディスプレイに表示されたのも、ボイスディスプレイ画面。このボタンを押した時と同じなんだ。

1 ページめ



このボイスディスプレイは全部で3ページ構成。
(ページボタンで進めてみよう)

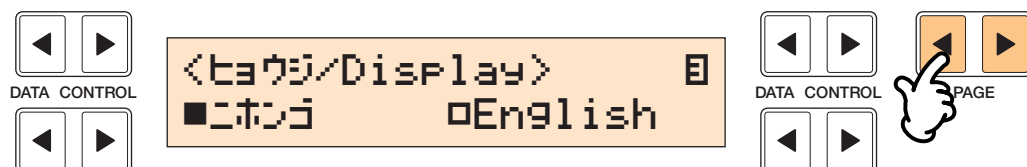
2 ページめ



1ページめと2ページめと合わせて、パネル面の音色名を表示しているんだ。


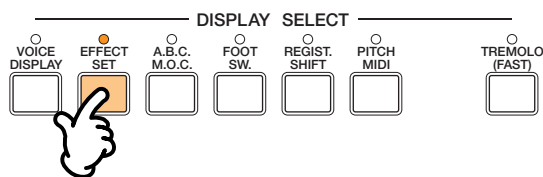
3ページめでは、
LCDディスプレイの表示を、日本語にするか、英語にするかを選ぶんだ。

3 ページめ




エフェクトってなに？

EFFECT SET (エフェクトセット) ボタン



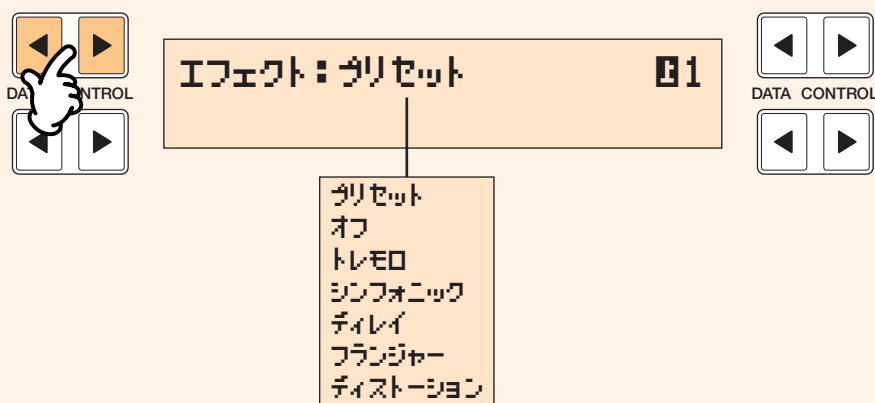
エフェクトってね、一言でいうと、『効果』

效果 · · · ?

たとえば、ある音があってね、その音をこだまのように繰り返させたり、うねらせたり、広がりをつけたり・・・させることを、“エフェクトをかける”っていうんだ。

EL-400にはたくさんのエフェクトが入っているよ。

エフェクトの種類(取扱説明書31ページ参照)



プリセット あらかじめ最初からセットされているときに表示される

オフ なにも効果がかかっていない

トレモロ 音を回転させるような効果


シンフォニック 音色に広がりにあたえる効果

(セレステはシンフォニックよりゆったりしている)

ディレイ こだまのような効果

フランジャー 音をうねらせるような効果

ディストーション …… 音を歪ませるような効果

 ここは、ボイスコンディション：ページ3(34ページ参照)とつながっているんだ。
どっちでセットしても同じだよ。

02 なんかもずかしそう・・・。

操作の流れを理解しちゃえば大丈夫さ。



ディレイをセットしてみよう!



まずはレジストレーションをセット。音色の呼び出し方は大丈夫だね。



こうね。

上鍵盤1	バスーン1 (ドットボタン)
リード	ピッコロ

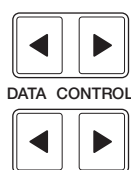
直接呼び出しの方法覚えているかな? オーボエの部屋にいるよ!

フルートの部屋にいるよ!



じゃあ、リードのピッコロにディレイをセットしてみようね。

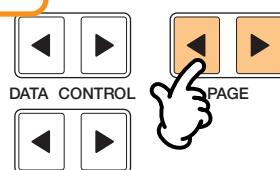
1. ページボタンでセットする音群を決める。



エフェクト: ディレイ
タイム-----195mSec

リード

エフェクトの
3ページめ



2. エフェクトの値をセットする。



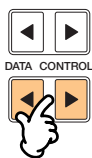
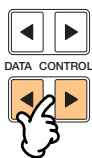
エフェクト: ディレイ
タイム-----956mSec



エフェクト: ディレイ
バランス-----100%



エフェクト: ディレイ
フィードバック 0.2%



エフェクト: ディレイ
モード-----モノラル



セットできたら弾いてみよう!

♩=120くらいの速さで(マーチのリズムをを使ってもいいかもね)。

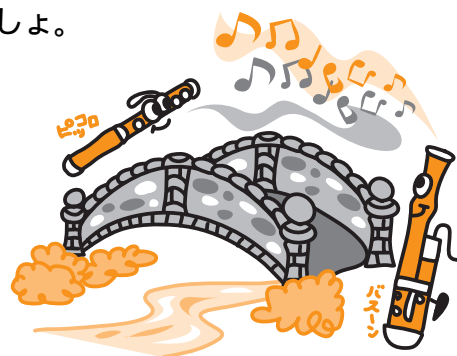
ロンドン橋



バスーンのメロディをピッコロが追いかけているでしょ。

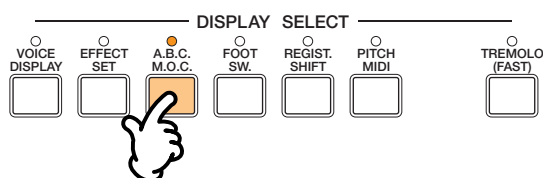


ほんとだ。



A.B.C./M.O.C.ってなに？

A.B.C./M.O.C.ボタン

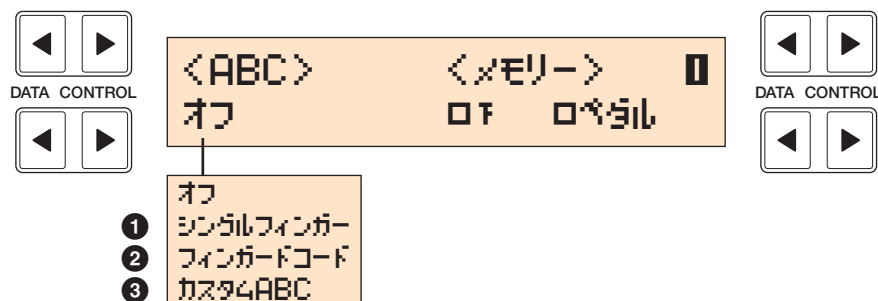


A.B.C.って？



オートベースコード (AUTO BASS CHORD)、略してA.B.C. (エービーシー) って呼んでいるんだ。

リズムに合わせて自動的にベースパターンや左手のコードの伴奏をつけてくれるんだ。

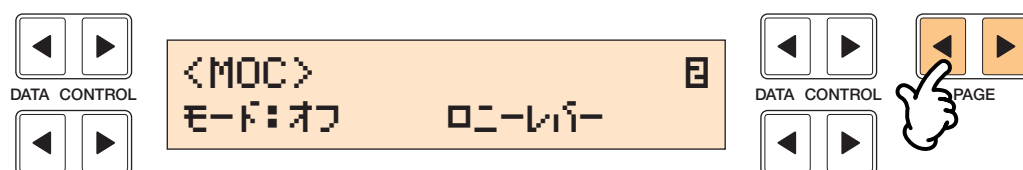


(取扱説明書51ページ参照)

- ① シングルフィンガー 1本指で弾く
- ② フィンガードコード 和音を弾く
- ③ カスタムABC 和音とベースを弾く



ページボタンで次のページに進めてごらん？
ここがM.O.C.のページだよ。

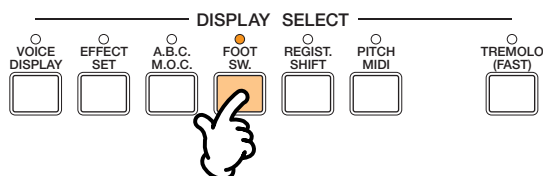


M.O.C.ってね、メロディオンコード (MELODY ON CHORD) の略で、
エムオーシーっていうんだよ。

これは、下鍵盤で押さえたコードに反応して、メロディを和音してくれる機能なんだ。

フットスイッチってなに？

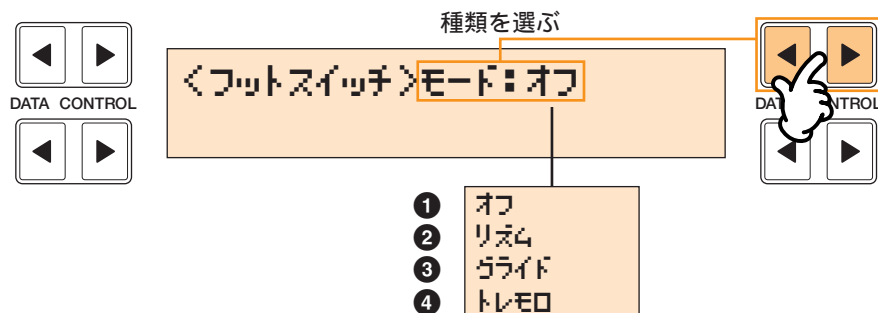
FOOT SW. (フットスイッチ) ボタン



右足をのせているエクスプレッションペダルの両側にボタン(スイッチ)があるでしょ？
それを、フットスイッチっていうんだ。

これね。

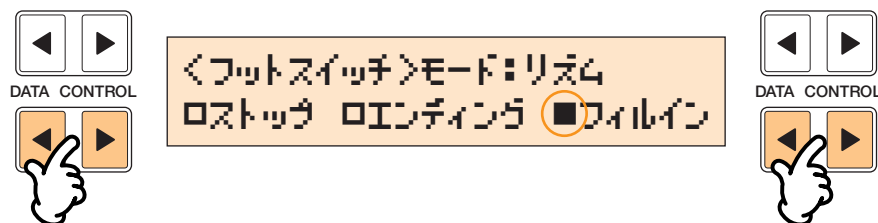
まず、左側のスイッチのことを説明するね。
このスイッチはいろんな働きをするんだよ。



① オフ 押してもなにも反応ナシ

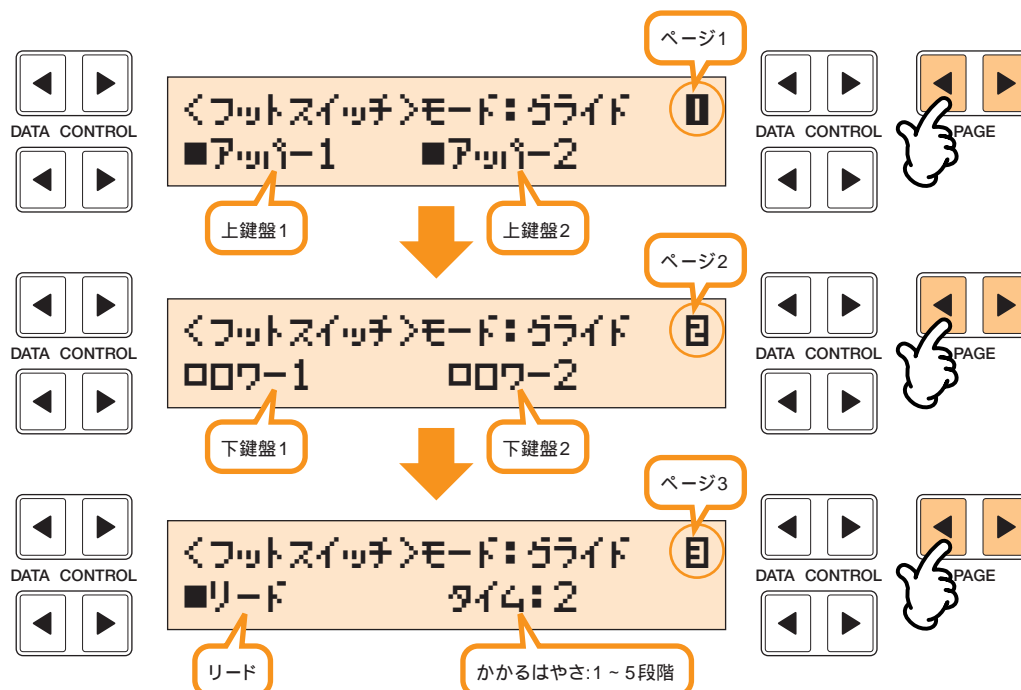
② リズム スタート・ストップ、フィルインのオン/オフなどの操作

フィルインを にして、パネルのリズムをスタートし、
フットスイッチを押してみよう！！



ページボタンで進めて、グライドのかかる音群を選ぶ。

③ グライド 選択した音群にグライド(しゃくりあげるような効果)をかける。



基本レジストレーション2でグライドを体験



基本レジストレーション2を押し、③ グライドの画面を出してみて。

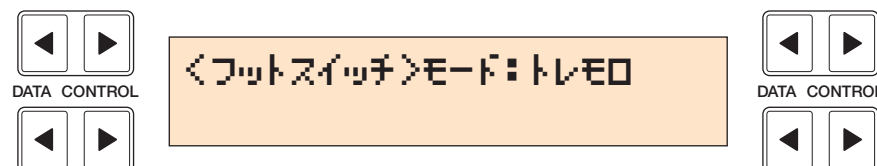
アッパー1は になっているね。

グライドの操作は左スイッチを押すんだよ。なにか音を弾きながら押してみて！



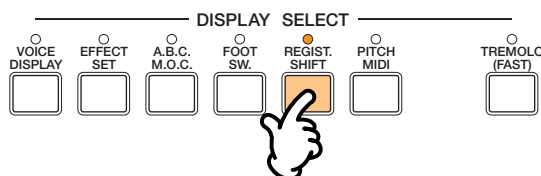
グイ～ンって感じ!!おもしろい!

④ トレモロ トレモロのオン/オフを操作



レジストレーションシフト

REGIST. SHIFT (レジストレーションシフト) ボタン



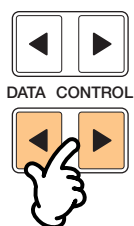
44ページで説明した、フットスイッチ。あの右側のほうのフットスイッチのことを、レジストレーションシフトスイッチっていうんだよ。

レジストレーションメモリーってね、手で押す以外に、この右のフットスイッチで変える操作ができるんだ。これが便利なんだ。

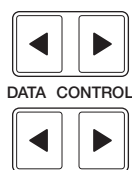
演奏してて手を鍵盤から離さずに、右に押すだけで、セットしておいた番号に変わってくれるよ。



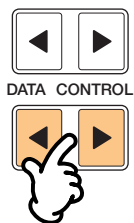
それは便利！



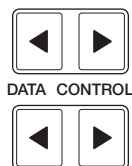
＜REG.シフト＞
モード：オフ



押しても反応ナシ

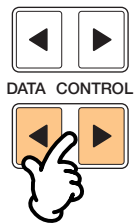
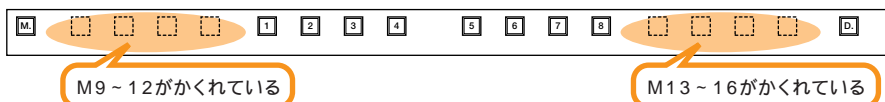


＜REG.シフト＞
モード：シフト 1 → 2

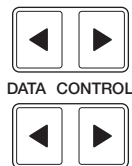


押すと順に進んで(1・2・3・4・5・6・・・)8まで進むと・・・ランプが消えた！！でしょ。

今ね、目に見えないメモリー [9] ~ [16] にレジストレーションメモリーが変わったところ。

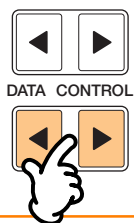


＜REG.シフト＞
モード：ジャンプ レジスト 8

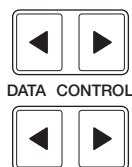


“ 8 ”にセット

押すと必ず進むレジストレーション番号を1つ指定できる。たとえば 8 にしておくと、どの番号からでも押すと必ずメモリー [8] になりま～す。



＜REG.シフト＞ <シフトエンド> []
モード：ユーザー ストッ

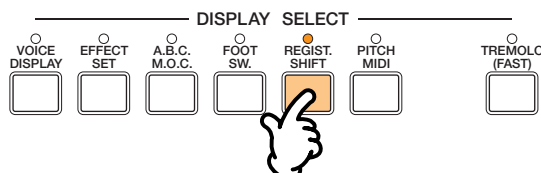


レジストレーションメモリーの進む順番をセットしておくことができる。

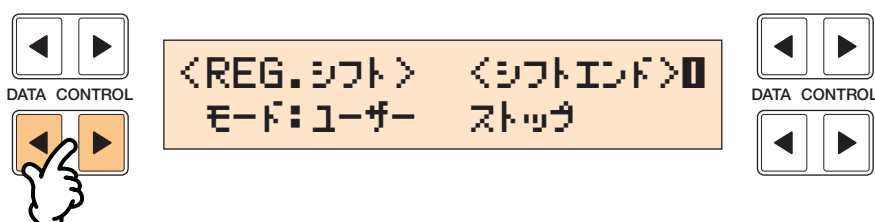


ELはじめてディスク『^{よろこび}歡喜の歌』のユーザーシフトをのぞいてみよう!

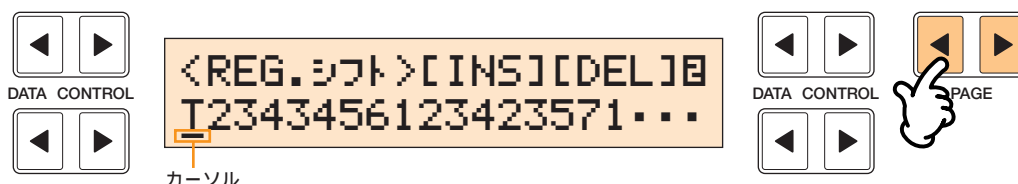
1. ELはじめてディスクの中のソング06『^{よろこび}歡喜の歌』を選んで、MDRのPLAY (プレイ) ボタン (▶) を押し、すぐにSTOP (ストップ) ボタン (■) を押す。
2. REGIST. SHIFT (レジストレーションシフト) ボタンを押す。



3. モードをユーザーに設定。



4. ページボタンでエディット画面にすると、レジストレーションメモリーの進む順番が見えるよ。



5. 右フットスイッチを押すと現在のレジストレーションを示す _ (カーソル) が順に動くんだ。押してみてごらん。
最後まで行ったら、左下のデータコントロールボタンを何回か押して _ (カーソル) を先頭に戻すと、もう一度はじめてから練習できるね。



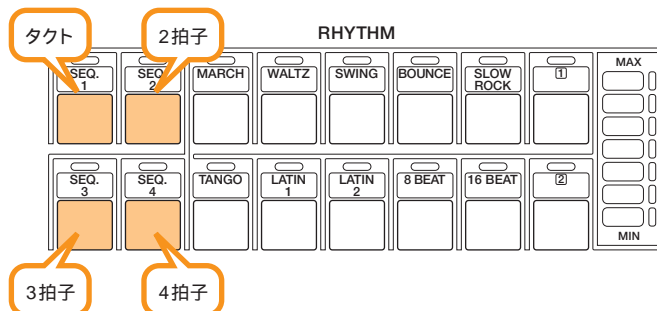
コラム

弾き初めて、まだリズムなどを付けて弾けないときは、こうして自分でレジストレーションチェンジをしながら、ゆっくりと譜読みをして練習できるね。

メトロノーム機能

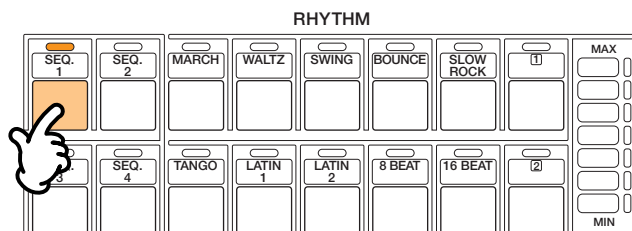


パネルのリズムセクションの左の方に4つのボタンがあるでしょ。



ここには、メトロノームになるリズムが入っているんだ。

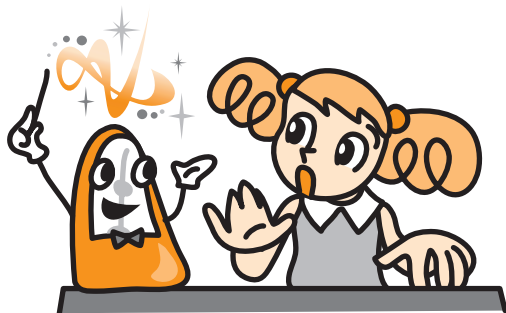
ボタンを選んで、



リズムスタートボタンをオン！テンポは自由に変更できるよ。




8ページで聴いた“ELはじめてディスク”や、市販の曲集などをPLAY(プレイ)すると、このボタンは、リズムパターンがた～くさん並んで詰まっている、『シーケンス』というボタンに変身するんだよ。シーケンスについては、取扱説明書65ページを参照してネ。




コラム

基本レジストレーションのボタンを押すと、メトロノーム機能にもどるヨ！

市販の曲集の使い方

 市販の曲集も使える？

 もちろん。今後出る曲集はちゃんとEL-400対応ソングがあるよ。それに、今まで出していた楽譜でEL-400って書いてなくても、EL-500のソングを使えばいいんだ。ばっちり再生可能！！

○

EL-900m, 900	SONG 01
EL-700, 500, 400, 200	SONG 02
EL-90, 87	SONG 03
EL-70, 57, 50, 37	SONG 04

EL-700、500、400、200のソングを使える

○


EL-900	SONG 01
EL-700, 500	SONG 02
EL-90, 87	SONG 03
EL-70	SONG 04
EL-57, 50, 37	SONG 05


EL-700、500のソングを使える


○


EL-90, 87	SONG 01
EL-70	SONG 02
EL-57, 50, 37	SONG 03
EL-27	SONG 04

EL-90、87のソングでOK!

 EL-500のでいいの？出ない音ない？

 ないんだなあ・・・すべてちゃ～んと出るんだ。


すごい。なんか得した気分。

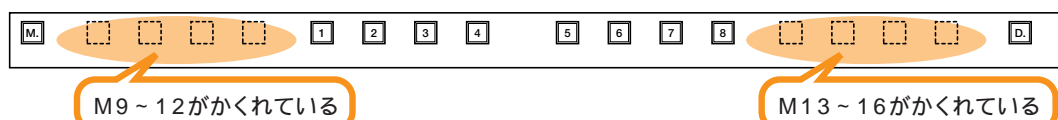
 も - っと昔のだってEL-90/87のソングがほとんど再生できちゃうんだ。


EL-500もそうなんだけど、メモリーの数8つでも、16個のメモリーを使った、たとえばEL-700のデータも再生できちゃうんだよ。


自分で作れるのは8個までだけど、再生はメモリー1～16までOK!

メモリーナンバーの9～16は隠れているんだ。

 へ～、不思議ね。



 “ELはじめてディスク”を再生しているとき、ときどきランプが消えたでしょ。

 そーか、あの時はメモリー9～16のどれかのレジストレーションメモリーで演奏していたってことね。



エレクトーンの専用曲集はね、ヤマハミュージックメディアってところから
たくさん出版されているんだ。

これがそのおもな曲集シリーズの体系図。

ヒットソング・シリーズ

エレクトーン ヒットソング・シリーズ9～8級

エレクトーン ヒットソング・シリーズ7～6級

エレクトーン ヒットソング・シリーズ5～3級

ポピュラー・シリーズ

エレクトーン ポピュラー・シリーズ9～8級

エレクトーン ポピュラー・シリーズ9～8級

エレクトーン ポピュラー・シリーズ9～8級

ディズニー・シリーズ

エレクトーン ディズニー・シリーズ9～8級

エレクトーン ディズニー・シリーズ7～6級

エレクトーン ディズニー・シリーズ5～3級

アーティスト・シリーズ

エレクトーン アーティスト・シリーズ9～8級

エレクトーン アーティスト・シリーズ7～6級

エレクトーン アーティスト・シリーズ5～3級

クラシック・シリーズ

エレクトーン クラシック・シリーズ9～8級

エレクトーン クラシック・シリーズ7～6級

エレクトーン クラシック・シリーズ5～3級

パーソナル・シリーズ

エレクトーン パーソナル・シリーズ7～6級

エレクトーン パーソナル・シリーズ5～3級

サポート付曲集シリーズ

エレクトーン サポート付曲集シリーズ 入門
(右手だけで弾けるはじめてのエレクトーン)

エレクトーン こどものサポート付曲集シリーズ 入門～初級

エレクトーン サポート付曲集シリーズ 入門～初級

エレクトーン サポート付曲集シリーズ 初級～中級

エレクトーン サポート付曲集シリーズ 中級～上級



ように

用途によってさまざまな曲集がいっぱいだね。



ホントね。




この他に“月刊エレクトーン”って雑誌もあってね、
毎月の新曲や、エレクトーンの最新情報などが満載
なんだ。


レジストレーションもMuma(ミューマ)という
データの自動販売機で買えるし超便利!!

6000曲以上もあるXGソングデータライブラリーの
データも再生可能!!



エレクトーンのことではわからないことがあったら・・・

 今後エレクトーン機能のことではわからないことがあったらどうしたらいいの？

 ヤマハに“エレクトーンインフォメーション”というところがあるんだ。
電話してみて。



エレクトーンインフォメーション

0120-186-808 (フリーダイヤル) だよ。

あと、ヤマハのホームページもあるよ。

<http://www.yamaha.co.jp>

曲集に関することなら

YMM (ヤマハミュージックメディア) のホームページをどうぞ！

<http://www.ymm.co.jp/>

EL-400音色リスト

パネルボタンで選べる音色には がついています。

ページ	鍵盤	音群	ボイス名
01	Upper/Lower	ストリングス	01:ストリングス1
			02:ストリングス2
			03:ストリングス3
			04:ストリングス4
			05:ストリングス5
			06:ストリングス6
			07:ストリングス7
			08:ピチカート
			09:トレモロストリングス
			10:シンセストリングス1
			11:シンセストリングス2
			12:シンセストリングス3
02	Lead	バイオリン	01:バイオリン1
			02:バイオリン2
			03:バイオリン3
			04:バイオリン4
			05:バイオリン5
			06:ピチカートバイオリン
			07:チェロ
			08:コキウ
03	Pedal	コントラバス	01:コントラバス1
			02:コントラバス2
			03:コントラバス3
			04:ピチカートベース
			05:アップライトベース
04	Upper/Lower	ブラス	01:ブラス1
			02:ブラス2
			03:ブラス3
			04:ブラス4
			05:ブラス5
			06:シンセブラス1
			07:シンセブラス2
			08:シンセブラス3
05	Lower	ホルン	01:ホルン1
			02:ホルン2
			03:ホルン3
			04:ホルン4
			05:ミュートホルン
06	Lead	トランペット	01:トランペット1
			02:トランペット2
			03:トランペット3
			04:トランペット4
			05:トランペット5
			06:トランペット6
			07:ミュートトランペット
			08:トロンボーン1
			09:トロンボーン2
			10:ミュートトロンボーン
			11:フリューゲルホルン
			12:ユーフォニウム
07	Pedal	チューバ	01:チューバ
			02:ティンパニ
			03:ティンパニロール

ページ	鍵盤	音群	ボイス名
08	Lead	フルート	01:フルート1
			02:フルート2
			03:ピッコロ
			04:ヨコブエ
			05:リコーダー
			06:オカリナ
			07:パンフルート
			08:シャクハチ
			09:ホイッスル
09	Lead	オーボエ	01:オーボエ1
			02:オーボエ2
			03:イングリッシュホルン
			04:バスーン1
10	Upper/Lower	クラリネット	05:バスーン2
			01:クラリネット1
			02:クラリネット2
			03:バスクラリネット
			04:シンセクラリネット1
11	Upper/Lower	サクソフォン	05:シンセクラリネット2
			01:サクソフォン1
			02:サクソフォン2
			03:ソプラノサックス
			04:サクセスEns. 1
			05:サクセスEns. 2
			06:シンセサックス
			07:シンセリード1
			08:シンセリード2
			09:シンセリード3
			10:シンセリード4
12	Upper/Lower	トウッティ	11:シンセリード5
			01:トウッティ1
			02:トウッティ2
			03:トウッティ3
			04:トウッティ4
			05:トウッティ5
			06:トウッティ6
13	Upper/Lower	コーラス	07:トウッティ7
			01:コーラス1
			02:コーラス2
			03:コーラス3
			04:コーラス4
			05:コーラス5
14	Upper	ハーモニカ	06:ボーカル
			01:ハーモニカ1
			02:ハーモニカ2

ページ	鍵盤	音群	ボイス名
15	Upper/Lower	オルガン	01:オルガン1
			02:オルガン2
			03:オルガン3
			04:オルガン4
			05:ジャズオルガン1
			06:ジャズオルガン2
			07:ジャズオルガン3
			08:ジャズオルガン4
			09:ポップオルガン1
			10:ポップオルガン2
			11:シアターオルガン1
			12:シアターオルガン2
			13:アコーディオン
			14:バンドネオン
16	Pedal	オルガンベース	01:オルガンベース1
			02:オルガンベース2
			03:オルガンベース3
			04:オルガンベース4
17	Upper/Lower	ピアノ	01:ピアノ1
			02:ピアノ2
			03:ホンキートンク
			04:エレピ1
			05:エレピ2
			06:エレピ3
			07:ハーブシコード
			08:クラビ
			09:クラビコード
18	Upper/Lower	ギター	01:ギター1
			02:ギター2
			03:ギター3
			04:12ゲンギター
			05:バンジョー
			06:マンドリン
			07:シタール
			08:シャミセン
			09:エレキギター1
			10:エレキギター2
			11:ミュートギター
			12:ディストーションGt
			13:ハーブ
			14:スチールギター
			15:コト
			16:タイショウゴト
19	Upper/Lower	ビブラフォン	01:ビブラフォン
			02:グロッケン
			03:チェレスタ
			04:オルゴール
			05:マリンバ
			06:シロフォン
			07:チャイム
			08:シンセチャイム
			09:スチールドラム

ページ	鍵盤	音群	ボイス名
20	Pedal	エレキベース	01:エレキベース1
			02:エレキベース2
			03:エレキベース3
			04:エレキベース4
			05:シンセベース1
			06:シンセベース2
			07:シンセベース3
21	Upper/Lower	コズミック	01:コズミック1
			02:コズミック2
			03:コズミック3
			04:コズミック4
			05:コズミック5
			06:コズミック6
			07:コズミック7
			08:コズミック8
			09:コズミック9
			10:コズミック10
22	Upper/Lower	ユーザーボイス	11:コズミック11
			12:コズミック12
			13:コズミック13
			14:コズミック14
			15:コズミック15
			16:コズミック16
			01:ユーザーボイス1
			02:ユーザーボイス2
			03:ユーザーボイス3
			04:ユーザーボイス4
			05:ユーザーボイス5
			06:ユーザーボイス6
			07:ユーザーボイス7
			08:ユーザーボイス8
			09:ユーザーボイス9
			10:ユーザーボイス10
			11:ユーザーボイス11
			12:ユーザーボイス12
			13:ユーザーボイス13
			14:ユーザーボイス14
			15:ユーザーボイス15
			16:ユーザーボイス16

EL-400リズムリスト

パネルボタンで選べるリズムには がついています。

ページ	カテゴリー	LCD表記
01	マーチ	01:マーチ1
		02:マーチ2
		03:マーチ3
		04:ポルカ1
		05:ポルカ2
		06:カントリー1
		07:カントリー2
		08:ブロードウェイ
		09:パロック
02	ワルツ	01:ワルツ1
		02:ワルツ2
		03:ワルツ3
		04:ワルツ4
		05:ワルツ5
		06:ジャズワルツ1
		07:ジャズワルツ2
		08:ジャズワルツ3
		09:ボレロ
03	スイング	01:スウィング1
		02:スウィング2
		03:スウィング3
		04:スウィング4
		05:スウィング5
		06:スウィング6
		07:ジャズバラード
		08:ディキシーランド1
		09:ディキシーランド2
04	バウンス	01:バウンス1
		02:バウンス2
		03:バウンス3
		04:レゲエ1
		05:レゲエ2

ページ	カテゴリー	LCD表記
05	スローロック	01:スローロック1
		02:スローロック2
		03:スローロック3
06	タンゴ	01:タンゴ1
		02:タンゴ2
		03:タンゴ3
07	ラテン1	01:チャチャ
		02:ルンバ
		03:ビギン
		04:マンボ
		05:サルサ
08	ラテン2	01:サンバ1
		02:サンバ2
		03:サンバ3
		04:ボサノバ1
		05:ボサノバ2
09	8ビート	06:ボサノバ3
		01:8ビート1
		02:8ビート2
		03:8ビート3
		04:8ビート4
		05:8ビート5
		06:ダンスポップ1
		07:ダンスポップ2
		08:ダンスポップ3
10	16ビート	09:ダンスポップ4
		01:16ビート1
		02:16ビート2
		03:16ビート3
		04:16ビート4
		05:16ビート5
		06:ファンク1
		07:ファンク2
		08:ファンク3

ページ	カテゴリー	LCD表記
11	ユーザーリズム	01:ユーザー1-A
		02:ユーザー1-B
		03:ユーザー1-C
		04:ユーザー1-D
		05:ユーザー2-A
		06:ユーザー2-B
		07:ユーザー2-C
		08:ユーザー2-D
		09:ユーザー3-A
		10:ユーザー3-B
		11:ユーザー3-C
		12:ユーザー3-D
		13:ユーザー4-A
		14:ユーザー4-B
		15:ユーザー4-C
		16:ユーザー4-D
		17:ユーザー5-A
		18:ユーザー5-B
		19:ユーザー5-C
		20:ユーザー5-D
		21:ユーザー6-A
		22:ユーザー6-B
		23:ユーザー6-C
		24:ユーザー6-D
		25:ユーザー7-A
		26:ユーザー7-B
		27:ユーザー7-C
		28:ユーザー7-D
		29:ユーザー8-A
		30:ユーザー8-B
		31:ユーザー8-C
		32:ユーザー8-D

エレクトーン用語いろいろ

A.B.C. (エー बी シー)

オートベースコードの略。自動伴奏機能のこと。カスタムA.B.C.、シングルフィンガー、フィンガードコードの3種類がある。

L.K.

ローキーボードの略、下鍵盤のこと。

MDR(エム ディー アル)

ミュージックディスクレコーダーの略、フロッピーディスクを入れ、再生や録音をする機械(9ページ)。

M.O.C. (エム オー シー)

メロディオンコードの略。弾いた和音に反応してメロディが和音になる機能(43ページ)。

P.K.

ペダルキーボードの略、ペダル鍵盤のこと。

U.K.

アップパーキーボードの略、上鍵盤のこと。

アカンパニメント(ACC.)

リズムと鍵盤を押さえたコードに連動して得られる伴奏のこと。1つのリズムで4つのタイプがある。

アフタータッチ(AFTER TOUCH)

鍵盤を後から押すタッチのこと。

イニシャルタッチ(INITIAL TOUCH)

鍵盤を弾くときのタッチのこと。

エクспRESSIONペダル

右足を乗せ、演奏中に音量を調節するペダルのこと。

エフェクト

音色を変化させる効果のこと。

キーボードパーカッション

下鍵盤やペダル鍵盤で、いろいろな打楽器の音を出す機能のこと。

基本レジストレーション

パネル上にある5種類のレジストレーションボタンのこと。幅広い音楽ジャンルの中の代表的な音色設定(29ページ)。

データコントロールボタン

LCDディスプレイの両脇にある◀ ▶ ボタンのこと。

トゥー ロウ -

リードボイスとペダルボイスにあるボタンのひとつ。リードボイス、またはペダルボイスの音色を下鍵盤で出したいときに使う。

ドットボタン

色々な音色、リズムを呼び出すことができるボタン(23ページ)。

フィート

音の高さを表す単位。エレクトーンには4フィート、8フィート、16フィートがあり、ペダルボイスにはさらに2フィートがあります。それぞれプリセットではいずれかにセットされている。

ページボタン

LCDディスプレイの表示の、ページを変更する(進める/戻す)際に使用するボタン。

ボイスコンディション

音色ボタンを二度押して表示されるページ。音の発音状態(コンディション)を設定する(34ページ)。

メモリーボタン

レジストレーションメモリーを記憶させるボタン。EL-400では8つのメモリーボタンがある(28ページ)。

リズムコンディション

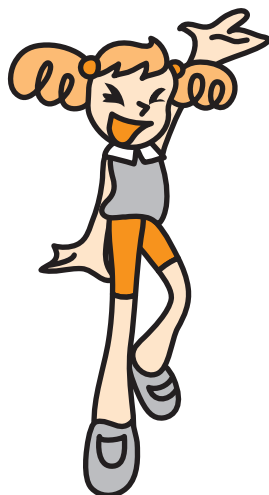
リズムボタンを二度押して表示されるページ。リズムの発音状態(コンディション)を設定する(37ページ)。

レジスト(レジストレーション)

上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤の音色、リズム、アカンパニメント、エフェクトなどの組み合わせのこと(28ページ)。

レジストレーションシフト

右フットスイッチでメモリーナンバーを変える操作のこと。オフ、シフト、ジャンプ、ユーザーの4種類がある(46ページ)。



ヤマハ株式会社

エレクトーンに関するあらゆる質問にお答えします。

エレクトーンインフォメーション

営業時間:月～金 10:00～12:00 13:00～17:00

フリーダイヤル  0120-186-808

インターネットホームページ
<http://www.yamaha.co.jp/>



この取扱説明書は
大豆油インクで印刷しています。



この取扱説明書は
エコマーク認定の
再生紙を使用しています。



この取扱説明書は
エコパルプ(ECF:無塩素系漂白パルプ)
を使用しています。

M.D.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation
© 2000 Yamaha Corporation

V653550 007MWAP25.2-01A0